

令和7年度
入学者選抜に関する要項



令和6年6月



静岡大学

旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度静岡大学入学選抜における旧教育課程*履修者に対する経過措置については、次のとおりとします。

(※平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程)

なお、この経過措置は令和7年度入学選抜に限っての措置とします。

(1) 大学入学共通テストにおける経過措置について

旧教育課程履修者は、本学各学部で課す大学入学共通テストの教科・科目（「地理歴史、公民」、「数学」及び「情報」）について、新教育課程により出題される教科・科目に加えて、旧教育課程により出題される教科・科目を選択解答できるものとします。学部・学科等ごとの教科・科目については下表をご参照ください。

なお、新教育課程履修者は、旧教育課程により出題される教科・科目を選択解答することはできません。

選抜区分	学部	学科・課程	専攻・専修	旧教育課程による出題科目																		
				地理歴史，公民											数学①		数学②		情報			
				旧世界史A	旧世界史B	旧日本史A	旧日本史B	旧地理A	旧地理B	旧現代社会	旧倫理	旧政治・経済	旧倫理・旧政治・経済	地理歴史，公民において○を付した科目のうち受験を要する科目数	旧数学Ⅰ	旧数学Ⅰ・旧数学A	旧数学Ⅱ	旧数学Ⅱ・旧数学B	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	旧情報	
一般選抜（前期日程）	人文社会科学部	社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目(※1)	—	◎	—	○	○	○	◎
		言語文化学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目	—	◎	—	○	○	○	◎
		法学科		—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	2科目(※1)	—	◎	—	○	○	○	◎
		経済学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目	—	◎	—	○	○	○	◎
	教育学部	学校教育教員養成課程		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
	情報学部	情報科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
		情報社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
		行動情報学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
	理学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
	工学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	◎	—	—	◎
農学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎	
グローバル共創科学部	グローバル共創科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎	
一般選抜（後期日程）	人文社会科学部	社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目	—	◎	—	○	○	○	◎
		言語文化学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目	—	◎	—	○	○	○	◎
		法学科		—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	2科目(※1)	—	◎	—	○	○	○	◎
		経済学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目	—	◎	—	○	○	○	◎
	教育学部	学校教育教員養成課程		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
	情報学部	情報科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
		情報社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
		行動情報学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
	理学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
	工学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	◎	—	—	◎
農学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎	
グローバル共創科学部	グローバル共創科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎	
学校推薦型選抜	人文社会科学部	社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	○	○	○
		言語文化学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	○	○	○
		法学科		—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	○	○	○
		経済学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	◎	—	○	○	○	○
		法学科（夜間主コース）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	○	○	○
		経済学科（夜間主コース）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	○	○	○
	教育学部	学校教育教員養成課程	音楽，美術， 英語教育専修を除く 音楽，美術， 英語教育専修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目又は2科目(※2)	—	◎	—	○	△	△	◎
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	○	—	○	△	△	○
	情報学部	情報科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
		情報社会学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	◎	—	○	△	△	◎
		行動情報学科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	○	△	△	◎
	理学部	創造理学コースを除く 創造理学コース		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目 —	—	◎	—	○	△	△	◎
	工学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	◎	—	—	◎
農学部	全学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1科目	—	◎	—	○	△	△	◎	
グローバル共創科学部	グローバル共創科学科		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選択しない又は1科目	—	◎	—	○	△	△	◎	
総合型選抜	理学部	地球科学科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	○	△	△	◎

※1 地理歴史1科目を必ず含むこと。

※2 公民から2科目は選択できません。

- 【注】1 「◎」は必須科目、「○」は選択科目、「△」は指定された者のみ選択解答できる科目を示し、「—」は該当しないことを示します。
- 2 新教育課程履修者は、これらの旧教育課程により出題される教科・科目を選択解答することはできません。新教育課程履修者で旧教育課程により出題される教科・科目を選択解答した場合は、大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。
- 3 【数学】：「簿記・会計」、「情報関係基礎」について
- 教育学部、情報学部、理学部、農学部及びグローバル共創科学部の志願者は、高等学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した人に限り、これらの科目を選択することができます。
 - 人文社会科学部の志願者は、高等学校等での履修に関わらず、これらの科目を選択することができます。

(2) 個別学力検査等における経過措置について

個別学力検査等において旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。

目 次

(ページ)

I 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」	2
---------------------------------	---

II 入学試験の概要

1 募集人員	16
2 選抜方法等の概要	17
3 教科・科目名の表記について	19

III 一般選抜

1 入学試験の実施方式	20
2 入学者選抜方法	20
3 出願資格	20
4 出願要件	21
5 学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者の取扱い	21
6 前期日程合格者で入学手続きを行った人の取扱い	21
7 個別学力検査等の日程	21
8 入学者選抜の実施教科・科目等（一般選抜）	22

IV 学校推薦型選抜	41
------------	----

V 総合型選抜

1 総合型選抜	68
2 社会人選抜	79
3 私費外国人留学生選抜	81

VI 受験上の配慮	82
-----------	----

VII 募集要項の発表・請求方法及び情報提供	82
------------------------	----

◆ 交通案内（静岡キャンパス・浜松キャンパス）	85
-------------------------	----

※本要項に変更があった場合には、下記ウェブサイトにてお知らせいたしますので、
ご確認いただきますようお願い致します。

<< <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/boshu/> >>

I 静岡大学の「入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「大学案内」>「理念と目標・取組」>『理念と目標』(<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/>)をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

■各学部の入学者受入の方針 (アドミッション・ポリシー)

◆人文社会科学部

【育てる人間像】

21世紀の多様な問題に、社会、言語、文化、法律、政治、経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ、国際的な視野と幅広い教養を備え、人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに、専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育(体験型教育)を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち、人文社会科学領域に対する学習意欲と、そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会学科は5つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために、人間や社会に対しての旺盛な関心、各種科目についての基礎知識、論理的な思考力、正確な文章読解力、基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力、文章の読解力、自分の意見を伝える表現力、他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには、論理的な思考力、文章の読解力、自分の意思を適切に伝える表現力、他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち、幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには、必要な能力の素地となる基礎的な学力として、初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔社会学科〕

人間社会や文化を現代的、歴史的な観点(哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学)から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し、そのための

能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔言語文化学科〕

従来の文学、語学の領域にとどまらず、言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とする方針の下で、言語と文化に関する深い専門性と学際的・国際的な視野、及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔法学科〕（夜間主コース含む）

法学・政治学は、現代社会の理解を目的に、それに必要な法的・政治的な知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔経済学科〕（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は、現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで、その実態や理論を学び、経済問題への分析を深め、その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では、このような課題に取り組み、社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》：夜間主コースを除く

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）〔社会学科〕個別学力検査：社会学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い視点からの分析力や考察力、論理的思考力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

〔言語文化学科〕個別学力検査：言語文化学科において学ぶために必要な読解力、論理的思考能力、表現力、芸術・文化的感性、外国語の読解力・表現力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

〔法学科〕個別学力検査：法学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力、論理的思考力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

〔経済学科〕個別学力検査：経済学科において学ぶための基本となる国語・英語能力、主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》：夜間主コースを除く

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）〔社会学科〕個別学力検査：社会学科において学ぶための基本となる読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力、論理的思考力等を総合的に判断します。

〔言語文化学科〕個別学力検査：言語文化学科において学ぶために必要な文章の読解力や表現力、論理的思考能力、芸術・文化的感性等が備わっているかを総合的に判断します。

〔法学科〕個別学力検査：法学科で実施する「小論文」では、特定の社会現象を記述した資料をもとに問いを発生し、各受験者の解答を通して、各自の知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力等を総合的に判断します。

〔経済学科〕個別学力検査：経済学科で学ぶための基本となる問題意識、論理的思考力を小論文から総合的に判断します。

《学校推薦型選抜》：夜間主コースを含む

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）〔社会学科〕〔言語文化学科〕〔法学科〕〔法学科（夜間主コース）〕面接：勉学意欲、問題意識、思考力、表現力等を総合的に判断します。

〔経済学科〕グラフ、表等の読解、評価能力を問う試験：社会への基礎をなす人びとの経済活動が大きく変化していく中、その事態を捉え、分析し、直面する諸課題への解決策を模索するために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。

〔経済学科（夜間主コース）〕小論文・面接：人びとの経済活動は、近現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済のあり方が大きく変化していくなかで、その実態や理論を学び、分析を深め、深刻な経済問題や地球環境問題を解決することはきわめて重要です。このような問題に取り組むために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。

《総合型選抜》：経済学科のみ（夜間主コースを除く）

（１）聴講・論述試験：講義内容や資料についての理解力、問題発見能力や入学後に必要となる論理的文章能力等を総合的に判断します。

（２）レポートに基づく面接：現代経済の直面する問題についての理解力や自分の考え等をまとめ、展開する力について判断します。

《社会人選抜》：夜間主コースのみ

- (1) [法学科(夜間主コース)] 小論文：法学科において学ぶために必要な基本的な知識や論理的思考能力，社会の事象に対する洞察力，そして文章表現力等を判断します。
[経済学科(夜間主コース)] 小論文：経済学科で学ぶために必要な基礎知識，論理的思考力，読解力及び表現力等を判断します。
- (2) [法学科(夜間主コース)] 面接：志望動機と勉学意欲，表現力等を判断します。
[経済学科(夜間主コース)] 面接：就学条件，志望動機と勉学意欲，表現力等を判断します。

《私費外国人留学生選抜》：夜間主コースを除く

- (1) 日本留学試験：人文社会科学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) [社会学科] 小論文・面接：社会学科において学ぶための基本となる幅広い視点からの分析力や考察力，論理的思考力，及び日本語の読解力・表現力，大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。
[言語文化学科] 小論文・面接：勉学意欲，問題意識，思考力，日本語の読解力・表現力，大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。
[法学科] 小論文・面接：法学及び政治学を学ぶ上で必要な日本語能力の到達度と，大学教育を受ける上での基礎学力の有無を総合的に判断します。
[経済学科] 小論文・面接：大学教育を受ける上で最低限必要な日本語能力を身につけていることを前提として，経済学科において学ぶための基本となる論理的思考力，表現力等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	全学科(*1)	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	○
一般選抜 (後期日程)	全学科(*1)	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	
学校推薦型選抜	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
	経済学科以外	面接		○	○
	経済学科(*1)	グラフ，表などの読解，評価能力を問う試験	○	○	
	経済学科(*2)	小論文・面接	○	○	○
総合型選抜	経済学科(*1)	聴講・論述試験	○	○	
		レポートに基づく面接	○	○	○
社会人選抜	法学科，経済学科(*2)	小論文	○	○	
		面接		○	○
私費外国人留学生選抜	全学科(*1)	日本留学試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○

*1：夜間主コースを除く

*2：夜間主コースのみ

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して，教職に対する強い情熱を持つとともに，教員に必要な専門的知識や技能，様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることのできる教育を行います。

【求める学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く，教職への適性・志向性をもつとともに，教員として必要となる基礎的な知識や技能，新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力，および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうか、入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は、志望する専攻・専修に課されている試験の科目について、幅広く学習を進めるだけでなく、日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》：〔学校教育教員養成課程〕発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《学校推薦型選抜（地域指定枠）》：〔学校教育教員養成課程〕全専攻・専修

小論文・面接：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《学校推薦型選抜（教員養成特別枠）》：〔学校教育教員養成課程〕全専攻・専修

小論文・面接：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《学校推薦型選抜》：〔学校教育教員養成課程〕教科教育学専攻（技術教育専修）

面接：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《学校推薦型選抜》：〔学校教育教員養成課程〕発達教育学専攻（教育実践学専修，教育心理学専修），初等学習開発学専攻，養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育教育専修，家庭科教育専修，英語教育専修）

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）面接：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《私費外国人留学生選抜》

（１）日本留学試験・英語資格試験：教育学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。

（２）小論文または実技検査・面接：教職に必要な能力・学力・適性等を評価するとともに、日本における教育・教員養成についての理解と日本の学校で実施する教育実習等の履修に必要な日本語の運用力を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全専攻・専修	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	○
一般選抜（後期日程）	発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）	大学入学共通テスト	○	○	
	発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，社会科教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）	個別学力検査（面接）	○	○	○
	教科教育学専攻（数学教育専修）	個別学力検査（数Ⅲ）	○	○	

学校推薦型選抜 (地域指定枠) (教員養成特別枠)	全専攻・専修	小論文・面接	○	○	○
学校推薦型選抜	教科教育学専攻 (技術教育専修)	面接	○	○	○
学校推薦型選抜	発達教育学専攻(教育実践学専修, 教育心理学専修), 初等学習開発学専攻, 養護教育専攻, 特別支援教育専攻, 教科教育学専攻(国語教育専修, 社会科教育専修, 数学教育専修, 理科教育専修, 音楽教育専修, 美術教育専修, 保健体育教育専修, 家庭科教育専修, 英語教育専修)	大学入学共通テスト	○	○	
		面接	○	○	○
私費外国人 留学生選抜	全専攻・専修	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		小論文または実技検査・ 面接	○	○	○

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学, 行動情報学, 情報社会学についての豊かな知識と国際感覚を備え, 情報モラルと高度な情報技術, 情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学, 行動情報学, 情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに, それぞれの分野において計算機科学, データサイエンスや情報サービス, 情報社会デザインという体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

著しい発展を続ける学問分野「情報学」に強く興味を持つ人, 情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会および国際社会に貢献する意欲のある人, 情報技術とそれを取り巻く社会や人間行動の変化を捉える学理を確立する意欲のある人, 情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが, 大学入学後は3学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって, 大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し, 基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて, 各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

【入学者選抜の基本方針】

〔情報科学科〕

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に, a. 計算機科学の基礎となる理論や技術, b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術, c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム, d. 音声や画像, 自然言語などのメディア処理とその応用, e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し, そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔情報社会学科〕

高度情報化は, 人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では, 情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで, 多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして, 多様な専門家との協働の場を形成し, 新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し, そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔行動情報学科〕

高度情報化社会の下で, 個人や組織の行動主体の情報学研究や, ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では, 情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情

報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) [情報科学科] 個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、記述力などを多面的・総合的に判断します。
 [情報社会学科] 個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、表現力、問題発見能力などを総合的に判断します。「小論文」においては、与えられた課題に対する理解力や思考力にもとづき、論理的な文章を主体的に組み立てる能力、記述力など、情報社会学を基盤に社会で活躍していくために必要な素養（情報社会学的素養）を判断します。
 [行動情報学科] 個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、記述力などを総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) [情報科学科] 個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、記述力などを総合的に判断します。
 [情報社会学科] 個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、表現力、問題発見能力などを総合的に判断します。
 [行動情報学科] 個別学力検査：受験する学科で学ぶための基本となる論理的思考力、理解力、記述力などを総合的に判断します。

《学校推薦型選抜》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) [情報科学科] 面接：情報科学科で学ぶために必要な論理的思考力・理解力・問題発見能力を判断します。
 [情報社会学科] 面接：情報社会学科で学ぶために必要な能力・学力・適性などを判断します。
 [行動情報学科] 個人レポート：行動情報学科で学ぶために必要な能力・学力・適性などを判断します。

《総合型選抜》：情報科学科

- (1) 基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 書類審査：情報科学科で学ぶために必要な能力・適性などを判断します。
- (3) 面接：情報科学科で学ぶための論理的思考力・理解力・問題発見能力等を総合的に判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：情報学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) [情報科学科] [行動情報学科] 個別学力検査（教科）：高等学校レベルの数学の基礎的学力の到達度を判断します。
 [情報社会学科] 小論文：日本語の理解力・表現力、思考力・考察力などを判断します。
- (3) 面接：学習意欲、学科の特性・教育理念との適合性などを判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	
一般選抜（後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	
学校推薦型選抜	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
	情報科学科、 情報社会学科	面接	○	○	○
	行動情報学科	個人レポート	○	○	○
総合型選抜	情報科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		書類審査	○	○	○
		面接	○	○	○
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		個別学力検査	○	○	
		面接		○	○

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性ととも幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究，科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学選抜試験は，受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。

したがって，入試種別に関わりなく，特定の教科・科目にかたよらないよう，高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学選抜の基本方針】

〔数学科〕

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも，それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔物理学科〕

物理学の基本となる力学，電磁気学，統計物理学，量子力学などの科目を通じて，物理学的な考え方や数学的手法を学び，自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて，社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔化学科〕

物理化学，無機化学，有機化学，生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔生物科学科〕

生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔地球科学科〕

地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

- (1) 〔数学科〕〔物理学科〕〔化学科〕〔生物科学科〕〔地球科学科〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。

- (2) 〔数学科〕個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔物理学科〕個別学力検査（教科）：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔化学科〕個別学力検査（教科）：化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔生物科学科〕個別学力検査（教科）：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔地球科学科〕個別学力検査（教科）：地球科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕個別学力検査（教科）：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》

- （１）〔数学科〕〔物理学科〕〔化学科〕〔生物科学科〕〔地球科学科〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。

- （２）〔数学科〕個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔物理学科〕個別学力検査（教科）：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔化学科〕個別学力検査（教科）：化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。また，長文による記述式問題を通して，科学的文章表現の能力を判断します。

〔生物科学科〕個別学力検査（教科）：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕個別学力検査（教科）：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

- （３）〔数学科〕〔物理学科〕〔生物科学科〕〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）

〔地球科学科〕小論文：地球科学科において学ぶための基本となる論理的思考力，表現力や科学の方法に対する理解などを総合的に判断します。

《学校推薦型選抜》：数学科，物理学科，化学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース

- （１）〔数学科〕〔物理学科〕〔化学科〕〔生物科学科〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に理数系科目と英語の学力の達成度を総合的に判断します。

- （２）〔数学科〕面接：数学科で学ぶための適性や意欲について総合的に判断します。面接では，数学Ⅲの試問も行います。

〔物理学科〕面接：物理学科で学ぶための適性や意欲について総合的に判断します。なお，面接のなかで，数学と物理学の基礎に関する履修状況を知るために簡単な試問を行います。

〔化学科〕面接：将来への抱負や，未知の課題に取り組む積極性などに基づいて，化学の学習に対する適性や意欲について総合的に判断します。なお，面接のなかで，化学に関する試問を行います。

〔生物科学科〕面接：生物学に対する意欲，将来への抱負，科学的思考力，論理的表現力，未知の課題に取り組む積極性に加えて，課外活動や社会活動の成果からみた高校生活の充実度などを総合的に判断します。なお，面接のなかで，生物学に関する試問を行います。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕面接：数学に関する基礎的な事項について試問を行います。また，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来への抱負などについても質問（初歩的な英語による質問を含む）を行います。論理性や表現力，理解力，未知の課題に取り組む積極性などについて総合的に判断します。

《総合型選抜》：地球科学科

- （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。

- （２）面接：地球科学に関して興味のある分野や事柄，これまで熱心に行ってきた活動や体験，大学における学習計画，将来の抱負などを中心に質疑応答を行い，それらを通じて論理性や表現力，理解力などを評価します。

《私費外国人留学生選抜》：数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球科学科

[数学科]

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：数学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを判断します。
- (3) 面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

[物理学科]

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：物理学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：物理学科で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度，論理的思考力及び表現力などを判断します。
- (3) 面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

[化学科]

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：化学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：化学科での学習に必要な基礎学力の習熟度，日本語能力，科学的思考力，未知の課題に取り組む意欲・積極性などを総合的に判断します。
- (3) 面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

[生物科学科]

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：生物科学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：生物科学について学ぶための基礎学力の達成度，論理的思考力，表現力，考察力などを総合的に判断します。
- (3) 面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

[地球科学科]

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：地球科学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：地球科学について学ぶための基礎学力，論理的思考力，表現力，考察力などを総合的に判断します。
- (3) 面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜 (後期日程)	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
	数学科，物理学科，化学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース	個別学力検査（教科）	○	○	
	数学科，物理学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース	調査書	○	○	○
	地球科学科	小論文	○	○	
学校推薦型選抜	数学科，物理学科，化学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース	大学入学共通テスト	○	○	
		面接	○	○	○
総合型選抜	地球科学科	大学入学共通テスト	○	○	
		面接	○	○	○
私費外国人留学生選抜	数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球科学科	日本留学試験・英語資格試験	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
		面接		○	○

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え、地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ、多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】

「ものづくり」に興味があり、何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人、高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは、前後期日程とも6教科8科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに、個別学力検査では、各学科で学ぶための基本となる学力について問うため、前後期日程とも数学、理科、英語の3教科3科目を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、理系科目に重点を置きながらも、文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔機械工学科〕

航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材、ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材、光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電気電子工学科〕

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は、情報通信・情報処理、生体医用技術、光エレクトロニクス、電気エネルギーの発生および有効利用、パワーエレクトロニクス、電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして広がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電子物質科学科〕

電子物質科学は、現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで、本学科では数学、物理や化学の基礎学力があり、日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔化学バイオ工学科〕

化学バイオ工学科では、光機能物質、生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や、環境化学、化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また、化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより、研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において、責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では、そのために必要な能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔数理システム工学科〕

数理システム工学科では、数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎、そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により、「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）・（後期日程）》

- （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- （２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力、表現力などを総合的に判断します。
なお、「英語」の一部を工学部独自の問題とし、科学技術に関する英語問題を通じて、これから生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

《学校推薦型選抜》

- （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- （２）〔機械工学科〕面接：機械工学科で学ぶために必要な能力・適性等を総合的に判断します。
〔電気電子工学科〕面接：電気電子工学科で学ぶために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含み、その参考資料とするために基礎的な問題を筆記により答えていただきます。
〔電子物質科学科〕面接：電子物質科学科で学ぶために必要な能力・適性等を総合的に判断します。
〔化学バイオ工学科〕面接：化学バイオ工学科で学ぶために必要な能力・学力・適性等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含み、その参考資料とするために基礎的な問題を筆記により答えていただきます。
〔数理システム工学科〕面接：数理システム工学科で学ぶために必要な能力・適性等を総合的に判断します。

《総合型選抜》

- （１）基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- （２）面接：志望学科で学ぶための論理的思考力・表現力等を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。

《私費外国人留学生選抜》

- （１）日本留学試験・英語資格試験：大学で学ぶ際に必要な基礎学力を判断します。
- （２）面接：志望動機、意欲、熱意などと共に、志望学科への適応性も含め、総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
学校推薦型選抜	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
	機械工学科, 電子物質科学科, 数理システム工学科	面接		○	○
	電気電子工学科, 化学バイオ工学科	面接	○	○	○
総合型選抜	全学科	基礎学力試験	○	○	
		面接	○	○	○
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		面接		○	○

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し、農学の幅広い専門分野を俯瞰でき、かつ相応の専門性を有するとともに、人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として、座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって、基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに、専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】

自然科学、生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し、人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決、持続可能な生物生産技術の開発、応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学選抜試験は、受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入学共通テストで6教科8科目と個別学力検査では数学、理科を課しています。また後期日程では、大学入学共通テストの6教科8科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに、理系科目を十分に学習しておくことが必要です。

【入学選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を、次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 個別学力検査：理系の教科の達成度から、農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。

《一般選抜（後期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力、論理的思考力などを総合的に判断します。
- (3) 学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」の項目等について、本学部の求める学生像に照らし合わせて、主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに、資格、学術的な表彰の実績等に応じて評価し、これらを総合的に判断します。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においては、本学部の求める学生像に照らし合わせて、主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに、資格、学術的な表彰の実績等について、提出書類をもとに評価します。）

《学校推薦型選抜》

- (1) 大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 面接：思考力、判断力、表現力、自ら学び成長していく意欲等を総合的に判断します。

《総合型選抜》：生物資源科学科

- (1) 基礎学力を問う試験：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
- (2) 小論文・面接：生物資源科学科で学ぶための農学の素養等を総合的に判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：大学で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 小論文・面接：小論文では理解力や考察力、日本語能力、論理的思考力などを、面接では日本文化に対する理解力や適応性も含めて、志望動機、意欲、熱意などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜 (後期日程)	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
		調査書	○	○	○
学校推薦型選抜	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		面接		○	○
総合型選抜	生物資源科学科	基礎学力を問う試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○

◆グローバル共創科学部

【育てる人間像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、人文・社会科学から自然科学に至る多様な知を結びつけ複眼的アプローチから諸課題に取り組み、未来社会を構想できる共創型の人材を育成します。また、人々や世界の多様性を理解し尊重した上で、多様な背景をもつ人々と協働して社会的課題の解決に取り組むことのできる人材を育成します。

【目指す教育】

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して、複眼的観点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を活用し、これからの課題解決に取り組む人材を育成するため、課題解決に必要な広汎な知識、異分野の人材を深く連携させ「総合知」を活用できる知識・能力、解決策を発想するための創造性、多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また、新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため、基本的な知識・技能として、外国語（特に英語）と数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

【求める学生像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組む、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっており、特に「現代に生きる人々が、創造的かつ友好的に暮らす」、「新たな価値を創出し、持続的な循環型社会を実現する」、「人間がどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現する」という3つの課題を通して、「未来社会・地球環境・人間環境の豊かさが持続可能なかたちで実現される」よう問題解決に向けて取り組むことに意欲ある学生を期待します。また、学修内容の指向性としては、文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること、外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため、文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していることが必要です。また、外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していることも求められます。

【入学者選抜の基本方針】

静岡大学グローバル共創科学部は、「求める学生像」「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」に基づき以下の三点を評価します。一般選抜では基礎的な学力を重視し、学校推薦型選抜、及び総合型選抜では社会・環境・人間等への関心や問題解決への意欲を含めて総合的に判定します。

- 外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していること
- 文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していること
- 地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組む、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっていること

これら a, b, c を、次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：a と b の達成度合いを判断します。
- (3) 志望理由書：c を判断します。

《一般選抜（後期日程）》

- (1) 大学入学共通テスト：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 個別学力検査（教科）：a の達成度合いを判断します。
- (3) 小論文：c を判断します。

《学校推薦型選抜》

- (1) 大学入学共通テスト：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 面接：b の達成度合いと c を総合的に判断します。

《総合型選抜》

- (1) 聴講・論述試験：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 面接：a と b の達成度合いと c を総合的に判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- (1) 日本留学試験：a と b の達成度合いを判断します。
- (2) 英語資格試験：a の達成度合いを判断します。
- (3) 面接：b の達成度合いと c を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	志望理由書			○
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	小論文	○	○	○
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	面接		○	○
総合型選抜	聴講・論述試験	○	○	
	面接		○	○
私費外国人留学生選抜	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
	面接	○	○	○

Ⅱ 入学試験の概要

1 募集人員

学部	学科・課程等			入学定員	募集人員										
					一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜						
					前期日程	後期日程	共通テストを課さない	共通テストを課す	総合型選抜 共通テストを課さない		総合型選抜 共通テストを課す		社会人選抜		私費外国人留学生選抜
人文社会科学学部	昼間コース	社会科学科	60	40	8		10						2		
		言語文化学科	69	45	11		10						3		
		法学科	84	54	18		12								
		経済学科	142	95	15		22	6					4		
		小計	355	234	52		54	6					9		
	夜間主コース	法学科	30				15				15				
		経済学科	30				15				8	7			
		小計	60				30				23	7			
計			415	234	52		84	6		23	7	9			
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修	260	5	2		2							
			教育心理学専修		6			3							
		教科教育学専攻	幼児教育専修		9										
			初等学習開発学専攻		7			6							
			養護教育専攻		4	2		3							
			特別支援教育専攻		9	5		4							
			国語教育専修		19	3		3							
					社会科教育専修	15	5		5						
					数学教育専修	19	3		3						
					理科教育専修	12	6		4						
					音楽教育専修	9			4						
					美術教育専修	7	3		3						
					保健体育教育専修	11			6						
					技術教育専修	8		2							
					家庭科教育専修	5	3		3						
					英語教育専修	12			5						
	【地域指定枠】					2									
【教員養成特別枠】					13										
計			260	157	32	17	54								
情報学部	情報科学科		98	53	30		5	10							
	情報社会学科		68	40	20		8								
	行動情報学科		69	44	20		5								
	計			235	137	70		18	10						
理学部	数学科		38	21 (1)	11 (1)		6 (1)								
	物理学科		48	21 (1)	19 (1)		8 (1)								
	化学科		48	21 (1)	18 (1)		9 (1)								
	生物科学科		48	21 (1)	21 (1)		6 (1)								
	地球科学科		48	29 (2)	11 (1)				8						
	※1 創造理学(グローバル人材育成)コース														
	計			230	113 (6)	80 (5)		29 (4)		8					
工学部	機械工学科		160	90	50		15	5							
	電気電子工学科		110	60	38		8	4							
	電子物質科学科		110	50	50		7	3							
	化学バイオ工学科		110	45	45		12	8							
	数理システム工学科		50	25	17		4	4							
	計			540	270	200		46	24						
農学部	生物資源科学科		105	45	25		23	12							
	応用生命科学科		70	35	20		15								
	計			175	80	45		38	12						
共創※2	グローバル共創科学科		115	47	20		20	28							
	計			115	47	20		20	28						
合計				1,970	1,038 (6)	499 (5)	17	289 (4)	80	8	23	7	9		

【注】私費外国人留学生選抜は、上記募集人員以外での募集も行います。81ページを参照してください。

※1 理学部創造理学(グローバル人材育成)コースは、数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い、各学科への配属は2年進級時になります。前期日程、後期日程及び共通テストを課す学校推薦型選抜のカッコの数字は内数です。

※2 共創とは、グローバル共創科学部のことを指します。

2 選抜方法等の概要

(1) 一般選抜

学部	学科・課程等			前期日程		後期日程	
				共通テスト	個別学力検査等	共通テスト	個別学力検査等
人文社会科学部	昼間コース	社会科学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	7(6)教科8科目	小論文	
		言語文化学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	7(6)教科8科目	小論文	
		法学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	7(6)教科8科目	小論文	
		経済学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	7(6)教科8科目	小論文	
教育学部	学校教育教員養成課程	発達専攻教育	教育実践学専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
			教育心理学専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文		
			幼児教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文		
		初等学習開発学専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文			
		養護教育専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	
		特別支援教育専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	
		教科教育学専攻	国語教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
			社会科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
			数学教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	数学
			理科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
			音楽教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文		
			美術教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
			保健体育教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文		
			技術教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文		
			家庭科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)
		英語教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文			
情報学部	情報科学科		6教科8科目	数学・英語	6教科8科目	数学	
	情報社会科学科		7(6)教科8科目	英語・小論文	7(6)教科8科目	英語	
	行動情報学科		7(6)教科8科目	英語・総合	7(6)教科8科目	英語	
理学部	数学科		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	数学・調査書	
	物理学科		6教科8科目	数学・物理	6教科8科目	物理・調査書	
	化学科		6教科8科目	数学・化学	6教科8科目	化学	
	生物科学科		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	理科・調査書	
	地球科学科		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	小論文	
	創造理学(グローバル人材育成)コース		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	数学・理科から1・調査書	
工学部	機械工学科		6教科8科目	数学・物理・英語	6教科8科目	数学・物理・英語	
	電気電子工学科		6教科8科目	数学・物理・英語	6教科8科目	数学・物理・英語	
	電子物質科学科		6教科8科目	数学・理科・英語	6教科8科目	数学・理科・英語	
	化学バイオ工学科		6教科8科目	数学・理科・英語	6教科8科目	数学・理科・英語	
	数理システム工学科		6教科8科目	数学・理科・英語	6教科8科目	数学・理科・英語	
農学部	生物資源科学科		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	理科・調査書	
	応用生命科学科		6教科8科目	数学・理科	6教科8科目	理科・調査書	
共創※1	グローバル共創科学科		7(6)教科8科目	国語・数学から1・英語・志望理由書	7(6)教科8科目	英語・小論文	

※1 共創とは、グローバル共創科学部のことを指します。

【注】 1 「大学入学共通テスト」の表記『7(6)教科8科目』について

国語1, 数学2, 外国語1, 情報1科目と「地歴, 公民」, 理科から3科目を選択(「地歴, 公民」から1, 理科から1科目を必ず含む)する場合, 次のようになります。

- ・地歴から1, 公民から1, 理科から1科目を選択の場合……7教科8科目
- ・地歴から2, 理科から1科目を選択の場合……6教科8科目
- ・「地歴, 公民」から1, 理科から2科目を選択の場合……6教科8科目

2 「個別学力検査」の選択教科・科目について

出願時に登録した選択教科・科目等の出願後の変更は認めません。

理科は, 学科等により指定された複数の科目から1科目を選択します。詳細は, 入学者選抜の実施教科・科目等(一般選抜) [22ページ～]を参照してください。

(2) 学校推薦型選抜，社会人選抜

学部	学科・課程等		学校推薦型選抜			社会人選抜	
			共通テストを課さない	共通テストを課す		第1期	第2期
			個別学力検査等	共通テスト	個別学力検査等	個別学力検査等	個別学力検査等
人文社会科学部	昼間コース	社会科学科		3教科3科目	面接		
		言語文化学科		3教科3科目	面接		
		法学科		3教科3科目	面接		
		経済学科		4教科5科目	経済・経営に関する資料の読解，評価能力を問う試験		
	夜間主コース	法学科		3教科3科目	面接	小論文・面接	
		経済学科		3教科3科目	小論文・面接	小論文・面接	小論文・面接
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修	7(6)教科8科目	面接		
			教育心理学専修	7(6)教科8科目	面接		
		初等学習開発学専攻		7(6)教科8科目	面接		
		養護教育専攻		7(6)教科8科目	面接		
		特別支援教育専攻		7(6)教科8科目	面接		
		教科教育学専攻	国語教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			社会科教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			数学教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			理科教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			音楽教育専修	3教科3科目	面接・実技		
			美術教育専修	3教科3科目	面接		
			保健体育教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			技術教育専修	面接			
			家庭科教育専修	7(6)教科8科目	面接		
			英語教育専修	3教科3科目	面接		
		【地域指定枠】		小論文・面接			
		【教員養成特別枠】		小論文・面接			
情報学部	情報科学科			6(5)教科7科目	面接		
	情報社会学科			5教科6科目	面接		
	行動情報学科			4教科5科目	個人レポート		
理学部	数学科			6教科8科目	面接		
	物理学科			6教科8科目	面接		
	化学科			6教科8科目	面接		
	生物科学科			6教科8科目	面接		
	創造理学(グローバル人材育成)コース			4教科6科目	面接		
工学部	機械工学科			6教科8科目	面接		
	電気電子工学科			6教科8科目	面接		
	電子物質科学科			6教科8科目	面接		
	化学バイオ工学科			6教科8科目	面接		
	数理システム工学科			6教科8科目	面接		
農学部	生物資源科学科			6教科8科目	面接		
	応用生命科学科			6教科8科目	面接		
共創※1	グローバル共創科学科			5教科6科目	面接		

※1 共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。

【注】 1 「大学入学共通テスト」の表記『7(6)教科8科目』について 17ページ【注】参照。

2 「大学入学共通テスト」の表記『6(5)教科7科目』について

(1) 国語1，数学2，外国語1，情報1科目(必須)と「地歴，公民」から2科目を選択する場合，次のようになります。

・地歴から1，公民から1科目を選択の場合……6教科7科目

・地歴から2科目を選択の場合……5教科7科目

(2) 国語1，数学2，外国語1，情報1科目(必須)と「地歴，公民」，理科から2科目を選択する場合，次のようになります。

・理科から1，「地歴，公民」から1科目を選択の場合……6教科7科目

・理科から2科目を選択の場合……5教科7科目

(3) 総合型選抜

学部	学科			共通テストを課さない		共通テストを課す	
				個別学力検査等		共通テスト	個別学力検査等
人文 社会 学部	人間コース	経済学科	【専門学科及び総合学科枠】	聴講・論述試験，面接			
情報 学部	情報科学科	【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
理学 学部	地球科学科	【全学科枠】				4教科6科目	面接
工学 学部	機械工学科	【全学科枠】 【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
	電気電子工学科	【全学科枠】 【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
	電子物質科学科	【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
	化学バイオ工学科	【全学科枠】 【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
	数理システム工学科	【全学科枠】 【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験 <2次> 面接			
農学 学部	生物資源科学科	【専門学科及び総合学科枠】		<1次> 基礎学力を問う試験，小論文 <2次> 面接			
共創 ※1	グローバル共創科学科	【全学科枠】 【専門学科及び総合学科枠】 【社会人枠】		聴講・論述試験，面接			

※1 共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。

3 教科・科目名の表記について

(1) 大学入学共通テストの出題教科・科目名は，次のように略しています。

- 国語→国 『国語』→「国語」
- 地理歴史→地歴
『地理総合，地理探究』→「地総地探」，『歴史総合，日本史探究』→「歴総日探」，
『歴史総合，世界史探究』→「歴総世探」，『地理総合／歴史総合／公共』→「地総歴総公共」
- 公民→公民
『公共，倫理』→「公倫」，『公共，政治・経済』→「公政経」，
『地理総合／歴史総合／公共』→「地総歴総公共」（再掲）
- 数学→数
『数学Ⅰ，数学A』→「数Ⅰ・数A」，「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」，
『数学Ⅱ，数学B，数学C』→「数Ⅱ・数B・数C」
- 理科→理
「物理基礎」→「物基」，「化学基礎」→「化基」，「生物基礎」→「生基」，「地学基礎」→「地基」，
「物理」→「物理」，「化学」→「化学」，「生物」→「生物」，「地学」→「地学」
- 外国語→外
『英語』→「英」，『ドイツ語』→「独」，『フランス語』→「仏」，『中国語』→「中」，『韓国語』→「韓」
- 情報→情 「情報Ⅰ」→「情報Ⅰ」

(注) 1 『 』は高等学校学習指導要領上，設定されていない科目を示します。
2 『英語』のリスニングを利用する場合は「英(リスニングを含む)」と表記してあります。

(2) 大学入学共通テストの利用については，次の例のように利用科目名，利用方法を示しています。

- 【例】○数Ⅰ・数Aのみを指定 → 数Ⅰ・数A 必須
○地総地探，歴総日探，歴総世探から1科目を選択 → 地総地探，歴総日探，歴総世探 から1

(3) 「地理歴史，公民」において2科目を選択する場合においては，「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せ，「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せ（「地理総合」と「地理総合，地理探究」など）の選択はできません。

(4) 「地理歴史，公民」，「理科」をそれぞれ複数科目受験した場合で，本学が1科目を指定している場合は，当該教科の第1解答科目の得点を採用します。

(5) 大学入学共通テスト利用教科・科目名の最後には，利用教科・科目数【○教科○科目】が表記してあります。

Ⅲ 一般選抜

1 入学試験の実施方式

本学の募集単位である学科・課程の募集人員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」の両試験日程でそれぞれ入学者を募集する**分離分割方式**で実施します。

ただし、教育学部の次の課程・専攻・専修では後期日程の選抜を行いません。

学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育心理学専修, 幼児教育専修
	初等学習開発学専攻	
	教科教育学専攻	音楽教育専修, 保健体育教育専修, 技術教育専修, 英語教育専修

2 入学者選抜方法

大学入学共通テスト、個別学力検査、実技検査、面接、小論文、志望理由書及び調査書を総合して選抜します。また、**前期日程、後期日程とも２段階選抜は実施しません。**

3 出願資格

入学を志願できる人は、次のいずれかに該当する人です。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した人及び令和 7 年 3 月卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した人及び令和 7 年 3 月修了見込みの人
(特別支援学校の高等部または高等専門学校の 3 年次を修了した人及び令和 7 年 3 月修了見込みの人が該当します。)
- (3) 学校教育法施行規則第 1 5 0 条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人及び令和 7 年 3 月 3 1 日までにこれに該当する見込みの人

〔参考〕学校教育法施行規則第 1 5 0 条の規定内容

- 1 外国において学校教育における 1 2 年の課程を修了した人及び令和 7 年 3 月 3 1 日までに修了見込みの人またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和 7 年 3 月 3 1 日までに修了見込みの人
- 3 専修学校の高等課程（修学年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和 7 年 3 月 3 1 日までに修了見込みの人
- 4 文部科学大臣の指定した人
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した人（旧規程による大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和 7 年 3 月 3 1 日までに合格見込みの人で、令和 7 年 3 月 3 1 日までに 1 8 歳に達するもの
- 5 の 2 学校教育法第 9 0 条第 2 項の規定により大学に入学した人であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 1 8 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した人
- 6 学校教育法第 9 0 条第 2 項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、令和 7 年 3 月 3 1 日までに 1 8 歳に達するもの

- 【注】 1. 同規則第 1 5 0 条第 4 号に基づく G C E A レベルの入学資格により出願しようとする場合の科目数や評価等は、次ページのとおりです。
2. 同規則第 1 5 0 条第 7 号で出願しようとする人は、出願資格の審査が必要です。事前に本学に連絡してください。

学部	科目数・評価等
人文社会科学部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
教育学部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
情報学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・情報科学科では数学、行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。(すべてAレベル試験)
理学部	・Aレベル試験1科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。
工学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・数学及び理科(物理又は化学)に関する科目を含むものとします。
農学部	・Aレベル試験1科目 ・ASレベル試験は不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・理科(物理、化学又は生物)に限ります。
グローバル共創科学部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限ります。 ・数学に関する科目を含むものとします。(Aレベル試験)

4 出願要件

一般選抜に出願する人は、令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験していることが必要です。

※ 本学の指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので、科目名、科目数には十分注意してください。

本学の指定した大学入学共通テストの教科・科目は、次ページ以降にて確認してください。
(各学部の【注意事項】も併せて確認してください。)

5 学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者の取扱い

本学または他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜の合格者及び総合型選抜に合格し入学手続きを完了した人は、本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

ただし、当該大学の学校推薦型選抜の入学辞退を許可された人及び総合型選抜の入学辞退届を提出した人は除きます。

6 前期日程合格者で入学手続きを行った人の取扱い

本学または他の国公立大学の前期日程の合格者で所定の期日までに入学手続きを行った人は、後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

7 個別学力検査等の日程

(1) 出願期間

前期日程・後期日程とも、令和7年1月27日（月）～令和7年2月5日（水）

(2) 選抜期日

前期日程 令和7年2月25日（火）

後期日程 令和7年3月12日（水）

(3) 合格発表日

前期日程 令和7年3月6日（木）

後期日程 令和7年3月21日（金）

8 入学者選抜の実施教科・科目等（一般選抜）
（１）実施教科・科目及び配点

人文社会科学部

学 科 等 名 募集人員（一般選抜）		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階選 抜
昼間コース	社会学科	前 期	国	国語	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究（古文・漢文を含む）	
		2月25日	地歴，公民	地総地探，歴総日探，歴総世探，公倫，公政経，地総歴総公共	英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
	前期 40 後期 8		理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学（ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。）	その他	小論文	
		後 期	数	数Ⅰ・数A	必須	小論文	
		3月12日	外情	数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓情報Ⅰ	必須 必須 から1 必須		
	〔7教科8科目または6教科8科目〕						
	言語文化学科	前 期			国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究（古文・漢文を含む）	
		2月25日			英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
	前期 45 後期 11				その他	小論文	
		後 期			その他	小論文	
		3月12日					
	法学科	前 期			国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語（古文・漢文を除く）	
		2月25日			英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
	前期 54 後期 18				その他	小論文	
		後 期			その他	小論文	
		3月12日					
	経済学科	前 期			国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語（古文・漢文を除く）	
		2月25日			英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
	前期 95 後期 15				その他	小論文	
		後 期			その他	小論文	
		3月12日					

【人文社会科学部：注】

- 1 人文社会科学部の夜間主コースは，一般選抜は行わず，特別選抜（学校推薦型選抜及び社会人選抜）のみ実施します。
- 2 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
- （１）社会学科の前期日程における「地理歴史，公民」は，「地総地探」，「歴総日探」，「歴総世探」のうち1科目を含むこと。
- （２）「理科」を2科目受験した場合は，第1解答科目の得点を採用します。
- （３）『英語』を選択解答する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- （４）教科・科目名の表記については，19ページを参照してください。
- 3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
- （１）法学科の大学入学共通テストの「国語」「地理歴史，公民」「理科」「数学」の配点（満点）は，得点率の和が最も大きい2科目を各100点，他の4科目を50点として換算します。
- ただし，「得点率の和が最も大きい2科目」の選定に際しては，『地理歴史，公民』第2解答科目は『地理歴史，公民』第1解答科目との組み合わせにおいてのみ，考慮します。（※1）
- （２）大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は，200点満点（「リーディング」100点満点を150点満点に，「リスニング」100点満点を50点満点に換算）とし，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」100点満点を200点満点とし，各学科が利用する配点に換算します。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴,公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	配点合計	
共通テスト	100	100×2	50	50×2	150	50				650	
個別学力検査	100				100		100			300	
計	200	200	50	100	250	50	100			950	
共通テスト	100	100×2	50	50×2	150	50				650	
個別学力検査							200			200	
計	100	200	50	100	150	50	200			850	
共通テスト	200	100×2	50	50×2	200	40				790	
個別学力検査	200				200		100			500	
計	400	200	50	100	400	40	100			1290	
共通テスト	200	100×2	50	50×2	200	40				790	
個別学力検査							300			300	
計	200	200	50	100	200	40	300			1090	
共通テスト	100+100+50+50+50+50 ※1				200	25				625	
個別学力検査	120				200		80			400	
計	520				400	25	80			1025	
共通テスト	100+100+50+50+50+50 ※1				200	25				625	
個別学力検査							400			400	
計	400				200	25	400			1025	
共通テスト	200	100×2	100	100×2	200	50				950	
個別学力検査	60				200		40			300	
計	260	200	100	200	400	50	40			1250	
共通テスト	100	50×2	50	50×2	100	25				475	
個別学力検査							100			100	
計	100	100	50	100	100	25	100			575	

教育学部

学 科 等 名 募集人員(一般選抜)		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等		
			教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	2段階選抜
学校 発達 教育 教員 養成 課程	教育実践学専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 2	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)	
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				
	教育心理学専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 -	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須			
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				
	幼児教育専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 -	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須			
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				
	初等学習開発学専攻	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 -	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須			
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				
	養護教育専攻	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 2	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)	
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				
	特別支援教育専攻	前期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		後期 5	理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。)		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		後期	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 必須	その他	小論文	
		3月12日	外情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)	
				〔7教科8科目または6教科8科目〕				

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴,公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	配点合計	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査									400	400	
計	200	300		200	200	50			400	1350	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査									400	400	
計	200	300		200	200	50			400	1350	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査									400	400	
計	200	300		200	200	50			400	1350	

教育学部

学 科 等 名 募集人員(一般選抜)		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等			
			教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等		2段階選 抜
学校 教科 教育 学 専 攻 教 員 養 成 課 程	国語教育専修 前期 19 後期 3	前 期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む) 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ 小論文	から2教科 選択	
		2月25日	地歴、 公民 理 数	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	から3 必須 必須 必須	数 英 その他			
		後 期	外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)		
		3月12日		〔7教科8科目または6教科8科目〕					
	社会科教育専修 前期 15 後期 5	前 期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む) 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ 小論文	から2教科 選択	
		2月25日	地歴、 公民 理 数	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	から3 必須 必須 必須	数 英 その他			
		後 期	外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)		
		3月12日		〔7教科8科目または6教科8科目〕					
	数学教育専修 前期 19 後期 3	前 期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む) 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ 小論文	から2教科 選択	
		2月25日	地歴、 公民 理 数	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	から3 必須 必須 必須	数 英 その他			
		後 期	外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	数	数学Ⅲ・数学C		
		3月12日		〔7教科8科目または6教科8科目〕					
	理科教育専修 前期 12 後期 6	前 期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語， 古典探究(古文・漢文を含む) 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ， 論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ 小論文	から2教科 選択	
		2月25日	地歴、 公民 理 数	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	から3 必須 必須 必須	数 英 その他			
		後 期	外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)		
		3月12日		〔7教科8科目または6教科8科目〕					
	音楽教育専修 前期 9 後期 -	前 期	国	国語	必須	その他	小論文 実技(音楽)		
		2月25日	地歴、 公民 理 数 外 情	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から3 必須 必須 必須 必須				
		後 期		募集はありません。					
	美術教育専修 前期 7 後期 3	前 期	国	国語	必須	その他	小論文 実技(美術)		
		2月25日	地歴、 公民 理 数	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 から1又は2 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 から1又は2 (ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	から3 必須 必須 必須				
		後 期	外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	面接(小論文を含む)		
		3月12日		〔7教科8科目または6教科8科目〕					

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考	
試験の区分	国 語	地歴,公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	配点合計		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450		
計										1400		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査									400	400		
計	200	300		200	200	50			400	1350		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450		
計										1400		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査				400						400		
計	200	300		600	200	50				1350		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450		
計										1400		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査									400	400		
計	200	300		200	200	50			400	1350		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査							150	300		450		
計	200	300		200	200	50	150	300		1400		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査							150	300		450		
計	200	300		200	200	50	150	300		1400		
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950		
個別学力検査									600	600		
計	200	300		200	200	50			600	1550		

教育学部

学 科 等 名 募集人員(一般選抜)		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等		
			教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	2段階選抜
学校教育 教育 教員 養成 課程	保健体育教育専修	前期	国	国語	必須	その他	小論文 実技(保健体育)	
		後期	地歴、 公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	から3			
	前期 11 後期 -	2月25日	理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	必須 必須 必須 必須	[7教科8科目または6教科8科目]		
		後期	数					
	技術教育専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		後期	地歴、 公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	から3			
	前期 8 後期 -	2月25日	理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	必須 必須 必須 必須	数 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
		後期	数					
	家庭科教育専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		後期	地歴、 公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	から3			
	前期 5 後期 3	2月25日	理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	必須 必須 必須 必須	数 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
		後期	数					
	英語教育専修	前期	国	国語	必須	国	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、 古典探究(古文・漢文を含む)	から2教科 選択
		後期	地歴、 公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	から3			
	前期 12 後期 -	2月25日	理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	必須 必須 必須 必須	数 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、 論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
		後期	数					
	後期	3月12日	外情			その他	小論文 面接(小論文を含む)	

【教育学部：注】

1 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 「理科」は同一名称を付した科目の組合せ(「物理基礎」と「物理」など)はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- (2) 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- (3) 『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)
- (4) 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

2 【個別学力検査等】欄

- (1) 学校教育教員養成課程の前期日程「数学B」は「数列」、「数学C」は「ベクトル」を出題の範囲とします。
- (2) 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 数学教育専修の後期日程「数学Ⅲ」は、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」の履修を前提とした「数学Ⅲ」の分野とします。「数学C」は「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
- (3) 「実技」については、40ページを参照してください。

3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 個別学力検査欄の*印は、国語、数学、外国語の選択を表します。
- (2) 大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は、「リーディング」100点満点を150点満点に、「リスニング」100点満点を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」100点満点を200点満点とします。

教育 3/

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴, 公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	配点合計	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査							150	300		450	
計	200	300		200	200	50	150	300		1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査									400	400	
計	200	300		200	200	50			400	1350	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50				950	
個別学力検査	*150			*150	*150		150			450	
計										1400	

情報学部

学 科 等 名 募集人員（一般選抜）	学力検査等の 区 分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選 抜
情報科学科 前期 53 後期 30	前 期 2月25日	国 地歴、 公民	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理、化学、生物、地学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C	必須 から1 から2 必須 必須	数 英 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
	後 期 3月12日	外 情	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	から1 必須	数 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C	
情報社会学科 前期 40 後期 20	前 期 2月25日	国 地歴、 公民	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	必須 から2 から1	英 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ その他 小論文	
	後 期 3月12日	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔7教科8科目または6教科8科目〕	必須 必須 から1 必須	英 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	
行動情報学科 前期 44 後期 20	前 期 2月25日	国 地歴、 公民	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。)	必須 から3	英 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ その他 総合	
	後 期 3月12日	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔7教科8科目または6教科8科目〕	必須 必須 から1 必須	英 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	

【情報学部：注】

1 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 情報科学科において、「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (2) 情報社会学科において、「理科」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (3) 行動情報学科において、「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- (4) 『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- (5) 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

2 【個別学力検査等】欄

- (1) 「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
- (2) 行動情報学科の前期日程における『総合』は、「情報Ⅰ」（情報社会の問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用），「現代の国語」（情報の扱い方に関する事項），「数学Ⅰ」（データの分析），「数学A」（場合の数と確率），「数学B」（統計的な推測）を中心に，現実的課題に関連したデータ分析に関する問題を出題し，学科の特性にあった総合的な能力を評価します。

3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は、200点満点（「リーディング」100点満点を150点満点に、「リスニング」100点満点を50点満点に換算）とし、「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」100点満点を200点満点とし、各学科が利用する配点に換算します。
- (2) 大学入学共通テスト「【地歴、公民】【理科】」の配点は、次のとおりです。
- ・ 情報科学科(前期日程) : 「理科」の第1解答科目を50点とします。（※1）
 - ・ 情報科学科(後期日程) : 「理科」の第1解答科目を100点とします。（※2）
 - ・ 情報社会学科(前期日程) : 「地理歴史、公民」の第1解答科目を100点とし、それ以外を50点とします。（※3）
 - ・ 情報社会学科(後期日程) : 「地理歴史、公民」の第1解答科目を100点とし、それ以外を50点とします。（※4）

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴, 公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	総 合	
共通テスト	150	25	50+25 ※1	100×2	150	25					625
個別学力検査				300	250						550
計	150	100		500	400	25					1175
共通テスト	150	50	100+50 ※2	100×2	300	50					900
個別学力検査				400							400
計	150	200		600	300	50					1300
共通テスト	200	100+50 ※3	50	100×2	250	50					900
個別学力検査					200		200				400
計	200	200		200	450	50	200				1300
共通テスト	150	100+50 ※4	50	100×2	150	40					740
個別学力検査					500						500
計	150	200		200	650	40					1240
共通テスト	150	100×3		100×2	250	100					1000
個別学力検査					200					200	400
計	150	300		200	450	100				200	1400
共通テスト	150	100×3		100×2	250	100					1000
個別学力検査					400						400
計	150	300		200	650	100					1400

理学部

[illegible]

【理学部：注】

- 1【学科等名募集人員（一般選抜）】欄
創造理学(グローバル人材育成)コースは、数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い、各学科への配属は2年進級時になります。
- 2【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
(1)「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
(2)『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
(3)教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。
- 3【個別学力検査等】欄
(1)数学科・物理学科・化学科・創造理学コースの前期日程及び数学科・創造理学コースの後期日程における「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。生物科学科・地球科学科の前期日程における「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」を出題の範囲とします。
(2)「物理」は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
(3)「化学」は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
(4)「生物」は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
(5)「地学」は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。
(6)調査書に配点のある選抜区分への志願者のうち、高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては、面接を実施します。
- 4【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は、「リーディング」100点満点を150点満点に、「リスニング」100点満点を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」100点満点を200点満点とします。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴,公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	調査書	
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			200	400							600
計	200	100	400	600	200	40					1540
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査				400						100	500
計	200	100	200	600	200	40				100	1440
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			200	200							400
計	200	100	400	400	200	40					1340
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			400							100	500
計	200	100	600	200	200	40				100	1440
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			300	100							400
計	200	100	500	300	200	40					1340
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			250								250
計	200	100	450	200	200	40					1190
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			300	200							500
計	200	100	500	400	200	40					1440
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			300							100	400
計	200	100	500	200	200	40				100	1340
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査			300	200							500
計	200	100	500	400	200	40					1440
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	40					940
個別学力検査							200				200
計	200	100	200	200	200	40	200				1140
共通テスト	100	50	50×2	50×2	200	25					575
個別学力検査			100	100							200
計	100	50	200	200	200	25					775
共通テスト	100	50	50×2	50×2	200	25					575
個別学力検査				200						100	300
計	100	50		400	200	25				100	875

工学部

学 科 等 名 募集人員（一般選抜）	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等		
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階選 抜	
機械工学科 前期 90 後期 50	前 期	国	国語	数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日	地歴， 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共				
	後 期	理 数	物理，化学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む) 情報Ⅰ				
電気電子工学科 前期 60 後期 38	前 期		[6教科8科目]	数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日						
	後 期						
電子物質科学科 前期 50 後期 50	前 期			数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理，化学 から1 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日						
	後 期						
化学バイオ工学科 前期 45 後期 45	前 期			数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理，化学 から1 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日						
	後 期						
数理システム工学科 前期 25 後期 17	前 期			数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理，化学から1 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日						
	後 期						
	前 期			数 理 英	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 物理，化学から1 英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ		
	2月25日						
	後 期						

【工学部：注】

1 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- （1）「地理歴史，公民」を2科目受験した場合は，第1解答科目の得点を採用します。
- （2）『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- （3）教科・科目名の表記については，19ページを参照してください。

2 【個別学力検査等】欄

- （1）「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
- （2）「物理」は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
- （3）「化学」は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。

3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は，200点満点（「リーディング」100点満点を150点満点に，「リスニング」100点満点を50点満点に換算）とし，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」100点満点を200点満点とし，各学科が利用する配点に換算します。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴、公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	配点合計	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	
共通テスト	150	100	75×2	75×2	150	30				730	
個別学力検査			400	400	200					1000	
計	150	100	550	550	350	30				1730	

農学部

学 科 等 名 募集人員(一般選抜)	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等		
		教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	2段階選抜
生物資源科学科 前期 45 後期 25	前期 2月25日	国 地歴、 公民	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理、化学、生物、地学	必須 から1 から2	数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 物理、化学、生物 から1	
					理 その他	物理、化学、生物 から1 調査書	
	後期 3月12日	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	必須 必須 から1 必須			
応用生命科学科 前期 35 後期 20	前期 2月25日	[6教科8科目]			数 理	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 物理、化学、生物 から1	
	後期 3月12日				理 その他	物理、化学、生物 から1 調査書	

【農学部：注】

1 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (2) 『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- (3) 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

2 【個別学力検査等】欄

- (1) 「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」を出題の範囲とします。
- (2) 「物理」は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
- (3) 「化学」は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
- (4) 「生物」は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
- (5) 調査書に配点のある選抜区分への志願者のうち、高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては、面接を実施します。

3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は、「リーディング」100点満点を150点満点に、「リスニング」100点満点を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」100点満点を200点満点とします。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等												備 考
試験の区分	国 語	地歴, 公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	調査書	配点合計	
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	50					950	
個別学力検査			200	200							400	
計	200	100	400	400	200	50					1350	
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	50					950	
個別学力検査			300							100	400	
計	200	100	500	200	200	50				100	1350	
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	50					950	
個別学力検査			200	200							400	
計	200	100	400	400	200	50					1350	
共通テスト	200	100	100×2	100×2	200	50					950	
個別学力検査			300							100	400	
計	200	100	500	200	200	50				100	1350	

グローバル共創科学部

学 科 等 名 募集人員（一般選抜）	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等		
		教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	2段階選 抜
グローバル共創科学科 前期 47 後期 20	前 期	国	国語	必須	国	現代の国語，言語文化，論理国語， 文学国語，古典探究（古文・漢文を含む）	から1教科 選択
	2月25日	地歴、 公民	地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共	から3	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C	
		理	物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学		英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
		教	（ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。）		その他	志望理由書	
	後 期		数Ⅰ・数A	必須			
			数Ⅱ・数B・数C	必須	英	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ	
	3月12日	外 情	英（リスニングを含む），独，仏，中，韓 情報Ⅰ	から1 必須	その他	小論文	
〔7教科8科目または6教科8科目〕							

【グローバル共創科学部：注】

1 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- （1）「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は，第1解答科目を有効とします。
- （2）「地理歴史，公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科」の第1解答科目に加えて，「地理歴史，公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- （3）『英語』を選択解答する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- （4）教科・科目名の表記については，19ページを参照してください。

2 【個別学力検査等】欄

- （1）国語と数学の組合せは選択できません。
- （2）「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」を出題の範囲とします。

3 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- （1）個別学力検査欄の *印は，国語，数学の選択を表します。
- （2）大学入学共通テスト「外国語」の『英語』は，「リーディング」100点満点を150点満点に，「リスニング」100点満点を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」100点満点を200点満点とします。
- （3）後期日程：大学入学共通テストの合計点950点満点を600点満点に換算します。

共創 17

大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等											備 考
試験の区分	国 語	地歴, 公民	理 科	数 学	外国語	情 報	小論文	実 技	面 接	志望理由書	
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50					950
個別学力検査	*200			*200	200					100	500
計											1450
共通テスト	200	100×3		100×2	200	50					600
個別学力検査					200		200				400
計											1000

(2) 教育学部実技検査

【 前期日程 】

学校教育教員養成課程 教科教育学専攻														
音楽教育専修	次の a , b の組み合わせで受験してください。 なお、演奏はすべて暗譜で行います。													
	a	ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から、任意の 1 つの楽章を選択し演奏してください。 (暗譜演奏の上、繰り返しは省略すること。)											
	b	声 楽	次の 3 曲から 1 曲を選択し、() 内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は、本学で用意します。											
			<table><tr><td>1</td><td>Lasciar d'amarti</td><td>(へ短調, ホ短調)</td><td>F. Gasparini</td></tr><tr><td>2</td><td>花の街</td><td>(へ長調)</td><td>團伊玖磨</td></tr><tr><td>3</td><td>椰子の実 (1 , 2 番)</td><td>(イ長調, ト長調)</td><td>大中寅二</td></tr></table>	1	Lasciar d'amarti	(へ短調, ホ短調)	F. Gasparini	2	花の街	(へ長調)	團伊玖磨	3	椰子の実 (1 , 2 番)	(イ長調, ト長調)
1			Lasciar d'amarti	(へ短調, ホ短調)	F. Gasparini									
2	花の街	(へ長調)	團伊玖磨											
3	椰子の実 (1 , 2 番)	(イ長調, ト長調)	大中寅二											
美術教育専修	鉛筆による静物デッサン (モチーフとして、質感の異なる 2 つの物が配置されています。) 〔注〕 鉛筆 (色鉛筆を除く) と消し具 (練り消しゴム等) を持参してください。 試験に使われる用紙の種類は画用紙 (八つ切) で、本学が用意します。													
保健体育教育専修	器械、陸上、ボール及び表現の各運動領域における技能について検査します。 〔注〕 1 検査に適する運動着を着用し、試技を行う運動着の胸と背の両方にゼッケン (20cm×20cmの白布を用意し、受験番号を黒書) をつけてください。 ただし、ゼッケンをつける際の安全ピンの使用は禁止します。 なお、試技用、防寒用ともに出身校や氏名が特定できる服は使用できません。 2 運動靴は、屋内用と屋外用を用意してください。どの種目でもスパイクシューズは使用できません。													

IV 学校推薦型選抜

- 高等学校には、「中等教育学校」，「特別支援学校の高等部」及び「文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設」を含みます。なお，人文社会科学部（48，49ページ）では，この他に対象学校がありますので，対象となる学校欄を参照してください。
- 上記の在外教育施設のうち，修了月が4月以降の場合にあつては，本学の「令和7年3月卒業見込みの人」は「令和6年4月以降に修了した人」に，「令和6年3月以降に卒業した人」は「令和5年4月以降に修了した人」に読み替えることができます。
- 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ一つの年度で出願できるのは，一つの大学・学部です。従って，本学の学校推薦型選抜に出願した場合は，他の国公立大学の学校推薦型選抜へは出願できません。
ただし，一つの大学・学部の同一の学校推薦型選抜募集単位について，「大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜」で不合格となった場合は，同一の募集単位の「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。
従って，本学の場合は，「大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜」の教育学部学校教育教員養成課程【地域指定枠】・【教員養成特別枠】を不合格となった場合に限り，同一の専攻・専修（第一志望に限定）の「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜」に出願できます。
- 学校推薦型選抜の合格者は，当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める手続きにより入学の辞退を許可された場合を除き，他の国公立大学・学部の入学許可は得られません。

(1) 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

推薦Ⅰ-1/2

実 施 学 部	教 育 学 部	
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程	
	(全専攻・専修)	
募 集 人 員	地域指定枠 2 名	教員養成特別枠 13 名
出 願 要 件	令和7年3月、静岡県指定地域（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法及び令和3年3月末に期限を迎えた過疎地域自立促進特別措置法による指定地域）に所在する高等学校を卒業見込みの人	令和7年3月高等学校卒業見込みの人
	次の各項目に該当し、学力・人物が優れ、志願する専攻・専修への能力・適性等について、学校長が責任をもって推薦できる人 1 静岡県で学校教員として指導力を発揮し地域に貢献しようとする強い意欲を持つ人 2 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人	次の各項目に該当し、学力・人物が優れ、志願する課程への能力・適性等について、学校長が責任をもって推薦できる人 1 学校教員になろうとする強い意欲を持つ人 2 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に小論文と面接（提出書類等の内容確認を含む）を課します。 2 1の結果により選抜します。	1 志願者全員に小論文と面接を課します。 2 1の結果により選抜します。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～令和6年11月7日（木）	
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土）	
合 格 発 表 日	令和6年12月2日（月）	
対象となる学校及び推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内	高等学校1校につき3名以内
備 考	合格者のうち、希望者には入学前準備教育を用意しています。	

【注】【実施課程等】欄

学校教育教員養成課程のいずれかの専攻・専修を選んで出願します。

実 施 学 部	教 育 学 部
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻
	技術教育専修
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 2 名
出 願 要 件	高等学校の農業・工業に関する学科，総合学科を令和7年3月卒業見込みの人
	次の各項目に該当し，学力・人物が優れ，志願する専修への能力・適性等について，学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 次の①～③のいずれかの人 ①農業に関する科目を25単位以上修得見込みの人 ②工業に関する科目を25単位以上修得見込みの人 ③総合学科において農業と工業に関する科目を合わせて25単位以上修得見込みの人 3 学校教育に熱意のある人で，志願する専修に適性を有する人
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 1の結果により選抜します。
	※ 課題研究（もしくは志願者が参加したグループまたは個人の製作物や技術に関する実績など）の技術実践報告書1部を学校長の押印をつけて他の出願書類と一緒に提出してください。（詳細は，募集要項でお知らせします。）
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～令和6年11月7日（木）
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和6年12月2日（月）
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内
備 考	合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。

(2) 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

推薦Ⅱ-1/24

実 施 学 部	人文社会科学部 (昼間コース)	
実 施 学 科	社 会 学 科	
募 集 人 員	10 名	
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当し、学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 志願する学科の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力・素質・適性をもつ人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 なお、面接資料用に学修計画書の作文を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 必須 から1 から1 〔3教科3科目〕
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校で推薦できる人数は定めません。	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数(指定数以上)の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	人文社会科学部（昼間コース）		
実 施 学 科	言語文化学科		
募 集 人 員	1 0 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当し、学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 志願する学科の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力・素質・適性をもつ人		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 なお、面接資料用に作文を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。） 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 〔3教科3科目〕	
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）		
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）		
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校で推薦できる人数は定めません。		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	人文社会科学部 （昼間コース）		
実 施 学 科	法 学 科		
募 集 人 員	1 2 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当し、学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がB段階以上の人 2 志願する学科の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力・素質・適性をもつ人		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績，面接の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 （ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。） 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 [3教科3科目]	
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）		
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）		
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校で推薦できる人数は定めません。		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	人文社会科学部 （昼間コース）		
実 施 学 科	経 済 学 科		
募 集 人 員	2 2 名		
出 願 要 件	令和 7 年 3 月高等学校卒業見込みの人及び令和 6 年 3 月以降に高等学校を卒業した人		
	令和 7 年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当し、学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評が B 段階以上の人 2 経済及び経営の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力、素質、適性をもつ将来性のある人		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に経済・経営に関する資料（グラフ、表など）の読解、評価能力を問う試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績、 1 の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴、 公民 理 情 数 外	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。） 情報Ⅰ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 [4教科5科目]	
		必須 から 1 必須 必須 から 1	
出 願 期 間	令和 7 年 1 月 2 7 日（月）～令和 7 年 1 月 3 1 日（金）		
選 抜 期 日	令和 7 年 2 月 8 日（土）		
合 格 発 表 日	令和 7 年 2 月 1 1 日（火）		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校 1 校で推薦できる人数は定めません。		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	人文社会科学部（夜間主コース）	
実 施 学 科	法 学 科	
募 集 人 員	15 名	
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人及び令和5年9月以降に高等学校を卒業した人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の人 2 入学後に就労（アルバイトを含む）しながら勉学することを確約できる人（確約書が必要）	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1 （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。） 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 必須 から2 〔3教科3科目〕
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校（高等学校専攻科及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を含む）1校で推薦できる人数は定めません。	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、高得点の2科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	人文社会科学部（夜間主コース）		
実 施 学 科	経 済 学 科		
募 集 人 員	1 5 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人及び令和5年9月以降に高等学校を卒業した人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の人 2 入学後に就労（アルバイトを含む）しながら勉学することを確約できる人（確約書が必要）		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に小論文と面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績，小論文，面接の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探，歴総日探，歴総世探， 公倫，公政経，地総歴総公共 物基，化基，生基，地基，物理，化学，生物，地学 （ただし，基礎付き科目×2科目で1とする。） 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓 〔3教科3科目〕 必須 から1 から1	
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）		
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）		
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校（高等学校専攻科及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を含む）1校で推薦できる人数は定めません。		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」と「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	教 育 学 部		
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程 発達教育学専攻		学校教育教員養成課程
	教育実践学専修	教育心理学専修	特別支援教育専攻
募 集 人 員	2 名	3 名	4 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専攻・専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 学校教育に熱意のある人で、志願する専攻・専修に適性を有する人		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔7教科8科目または6教科8科目〕	
		必須 から3 必須 必須 から1 必須	
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)		
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)		
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専攻・専修ごとに2名以内		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「理科」：「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- 2 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- 3 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 4 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	教 育 学 部	
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程	
	初等学習開発学専攻	養護教育専攻
募 集 人 員	6 名	3 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専攻への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 学校教育に熱意のある人で、志願する専攻に適性を有する人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 ※ 面接に先立ち、課題文等を読み、発表原稿を作成します。	1 志願者全員に面接を課します。
	2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 必須 から3 必須 必須 から1 必須 〔7教科8科目または6教科8科目〕
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専攻ごとに2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「理科」：「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- 2 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- 3 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 4 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	教 育 学 部	
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻	
	国語教育専修	社会科教育専修
募 集 人 員	3 名	5 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 学校教育に熱意のある人で、志願する専修に適性を有する人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 必須 から3 必須 必須 から1 必須 〔7教科8科目または6教科8科目〕
	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専修ごとに2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「理科」：「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- 2 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- 3 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 4 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	教 育 学 部	
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻	
	数学教育専修	理科教育専修
募 集 人 員	3 名	4 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
	1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 2 学校教育に熱意のある人で、志願する専修に適性を有する人	
	3 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B(またはそれらに相当する科目) を履修した人あるいは履修している人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 必須 から3 必須 必須 から1 必須 [7教科8科目または6教科8科目]
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専修ごとに2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「理科」：「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- 2 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- 3 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 4 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	教育学部	
実施課程等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻	
	音楽教育専修	美術教育専修
募集人員	4 名	3 名
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
	1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の人	1 高等学校における学習成績概評がB段階以上の人
	2 学校教育に熱意のある人で、志願する専修に適性を有する人	
選抜方法等	1 志願者全員に面接と実技を課します。	1 志願者全員に面接を課します。
	2 大学入学共通テストの成績、面接、実技の結果を総合して選抜します。	2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。
	※ 実技の内容は下記のとおりです。 実技試験は、コンコーネ50番<op.9>の3曲(8番, 13番, 27番)の中から当日指定する1曲を、階名、音名又は母音で弾き歌い(自分で伴奏しながら歌う)してください。 楽譜(任意の調で良い)は各自で用意し、見ながら演奏しても構いません。	※ 自己の創作による作品1点を、学校長の証明書(志願者本人の自作であることを証明する学校長の押印のあるもの)とともに選抜日当日に持参してください。 なお、持参する作品は、志願者自身によって試験場建物内で移動させることができるサイズ・重量のものに限ります。
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 [3教科3科目]
出願期間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選抜期日	令和7年2月8日(土)	
合格発表日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専修ごとに2名以内	

【注】【選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数(指定数以上)の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	教 育 学 部	
実 施 課 程 等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻	
	保健体育教育専修	家庭科教育専修
募 集 人 員	6 名	3 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
	1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の人	1 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人
	2 学校教育に熱意のある人で、志願する専修に適性を有する人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1又は2 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 (ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ [7教科8科目または6教科8科目]
		必須 から3 必須 必須 から1 必須
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する専修ごとに2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「理科」：「理科」は同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。この組合せで受験した場合は、第1解答科目を有効とします。
- 2 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
- 3 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 4 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	教育学部	
実施課程等	学校教育教員養成課程 教科教育学専攻	
	英語教育専修	
募集人員	5 名	
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する専修への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の人 2 次の英語力試験のいずれかを満たしている人（出願時に合格証書またはスコアレポートのコピーを同封すること） ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 52点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 500点以上 3 学校教育に熱意のある人で、志願する専修に適性を有する人	
選抜方法等	1 志願者全員に日本語と英語による面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴、 公民 理 数 情 外	国語 必須 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。） } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 情報Ⅰ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 } から1 〔3教科3科目〕
出願期間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
選抜期日	令和7年2月8日（土）	
合格発表日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目の中から、複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、最高得点の1科目を対象とします。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	情報学部	
実施学科	情報科学科	
募集人員	5 名	
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
選抜方法等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴、 公民 理	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 から1 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 から1又は2 （基礎なし科目から1科目を必ず含むこと。） （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。）
	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ
必須 から2 必須 必須 から1 必須 〔6教科7科目または5教科7科目〕		
出願期間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
選抜期日	令和7年2月8日（土）	
合格発表日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「理科」の第1解答科目に加えて、「地理歴史、公民」の第1解答科目と「理科」の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。
ただし、「理科」の第1解答科目に「基礎付き科目」を選択することはできません。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	情報学部	
実施学科	情報社会学科	
募集人員	8 名	
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
選抜方法等	1 志願者全員に面接を課します。 なお、面接に際しての話題に供するため、面接前に広義の情報学に関わるミニ講義（20分程度）を行います。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 必須 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物基、化基、生基、地基、物理、化学、生物、地学 （ただし、基礎付き科目×2科目で1とする。） } から1 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B・数C 必須 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情報Ⅰ 必須 [5教科6科目]
	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
出願期間		
選抜期日	令和7年2月8日（土）	
合格発表日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内	

【注】【選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ複数科目受験した場合は、最高得点の1科目を採用します。
ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。
（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	情報学部	
実施学科	行動情報学科	
募集人員	5 名	
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人	
選抜方法等	1 志願者全員に個人レポートを課します。 個人レポートでは、アドミッション・ポリシーに則って、論理的思考力・理解力・表現力・問題発見能力を審査します。なお、個人レポートに際しての話題に供するため、事前に模擬授業（65分程度）（※）を行います。 2 大学入学共通テストの成績、個人レポートの結果を総合して選抜します。 ※ 模擬授業では、ミニ講義（20分程度）のあとにグループワーク（45分程度）を行います。グループワークの議論結果に触れながら個人レポートを書くことになります。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国 数 外 情	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B・数C 必須 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情報Ⅰ 必須 [4教科5科目]
出願期間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
選抜期日	令和7年2月8日（土）	
合格発表日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき2名以内	

【注】【選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	理 学 部				
実 施 学 科	数 学 科		物 理 学 科		
募 集 人 員	5 名		7 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人				
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 志願する学科に応じて、数学または物理学に深い関心と熱意のある人				
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接（口頭試問を含む）を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。				
	大学入学共通テストの利用教科・科目名				
	教科	科 目 名 等			
	国 地歴、 公民 理	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理、化学、生物、地学	必須 から1 から2	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理 化学、生物、地学	必須 から1 必須 から1
	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ [6教科8科目]	必須 必須 から1 必須	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ [6教科8科目]	必須 必須 から1 必須
出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）				
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）				
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）				
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する学科ごとに2名以内				

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	理 学 部				
実 施 学 科	化 学 科		生 物 科 学 科		
募 集 人 員	8 名		5 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人				
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 志願する学科に応じて、化学または生物学に深い関心と熱意のある人				
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接（口頭試問を含む）を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。				
	大学入学共通テストの利用教科・科目名				
	教科	科 目 名 等			
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 化学 物理、生物、地学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	必須 } から1 必須 から1 必須 必須 から1 必須	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理、化学、生物、地学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	必須 } から1 から2 必須 必須 から1 必須
	出 願 期 間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）			
選 抜 期 日	令和7年2月8日（土）				
合 格 発 表 日	令和7年2月11日（火）				
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する学科ごとに2名以内				

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

創造理学(グローバル人材育成)コースは、数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い、各学科への配属は2年進級時になります。

1 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。
（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

2 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	工学部	
実施学科	機械工学科	電気電子工学科
募集人員	15名	8名
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦でき、勉学意欲に富む人	
選抜方法等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	1 志願者全員に面接（※）を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。 ※面接は口頭試問を含み、その参考資料とするために基礎的な問題を筆記により答えていただきます。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	国語 地歴、公民 物理 数 英 情報 I	国語 必須 地総地探、歴総日探、歴総世探、公倫、公政経、地総歴総公共 } から1 物理、化学 必須 数Ⅰ・数Ⅱ 必須 数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ 必須 英(リスニングを含む) 必須 情報Ⅰ 必須 [6教科8科目]
出願期間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）	
選抜期日	令和7年2月8日（土）	
合格発表日	令和7年2月11日（火）	
対象となる学校及び推薦できる人員	高等学校1校につき募集する学科ごとに5名以内	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「外国語」：『英語』は、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実施学部	工学部		
実施学科	電子物質科学科		化学バイオ工学科
募集人員	7 名		12 名
出願要件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦でき、勉学意欲に富む人		
選抜方法等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。		1 志願者全員に面接（※）を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。 ※面接は口頭試問を含み、その参考資料とするために基礎的な問題を筆記により答えていただきます。
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科目名等	
	国語 地歴、 公民 物理	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 物理、化学	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 公倫、公政経、地総歴総公共 化学 物理、生物、地学
	数 外 情	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む) 情報Ⅰ	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む) 情報Ⅰ
出願期間	令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）		
選抜期日	令和7年2月8日（土）		
合格発表日	令和7年2月11日（火）		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する学科ごとに5名以内		

【注】【選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「外国語」：『英語』は、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	工 学 部		
実 施 学 科	数理システム工学科		
募 集 人 員	4 名		
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人		
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦でき、勉学意欲に富む人		
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。		
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科 目 名 等	
	国 地歴, 公民 理	国語 地総地探, 歴総日探, 歴総世探, 公倫, 公政経, 地総歴総公共 物理	必須 から1
	数 外 情	化学, 生物, 地学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニングを含む) 情報Ⅰ	必須 から1 必須 必須 必須
[6教科8科目]			
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)		
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)		
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)		
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校につき募集する学科ごとに5名以内		

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 1 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 2 「外国語」：『英語』は、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。
(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)
- 3 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	農 学 部	
実 施 学 科	生物資源科学科	応用生命科学科
募 集 人 員	2 3 名	1 5 名
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人及び令和6年3月以降に高等学校を卒業した人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当する、学力・人物が優れ、志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における学習成績概評がB段階以上の人 2 志願する学科に応じて、生物資源科学、応用生命科学を学ぶ熱意を有する人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴、 公民 理 数 外 情	国語 必須 地総地探、歴総日探、歴総世探、 } から1 公倫、公政経、地総歴総公共 } から2 物理、化学、生物、地学 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B・数C 必須 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情報Ⅰ 必須 〔6教科8科目〕
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校で推薦できる人数は定めません。	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

実 施 学 部	グローバル共創科学部	
実 施 学 科	グローバル共創科学科	
募 集 人 員	20 名	
出 願 要 件	令和7年3月高等学校卒業見込みの人	
	令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、次の各項目に該当し、学校長が責任をもって推薦できる人 1 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の人 2 地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題の解決に取り組み、よりよい未来社会の実現に貢献することへの意欲が高い人 3 文系と理系を含めた様々な分野を学習した上で、特に、英語や数学に関して興味・関心が高い人。また、これまで自らが熱心に取り組んできた活動がある人	
選 抜 方 法 等	1 志願者全員に面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴, 公民 理 数 外 情	国語 必須 地総地探, 歴総日探, 歴総世探, 公倫, 公政経, 地総歴総公共 物基, 化基, 生基, 地基, 物理, 化学, 生物, 地学 (ただし, 基礎付き科目×2科目で1とする。) 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B・数C 必須 英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓 情報Ⅰ から1 必須 [5教科6科目]
出 願 期 間	令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)	
選 抜 期 日	令和7年2月8日(土)	
合 格 発 表 日	令和7年2月11日(火)	
対象となる学校 及び 推薦できる人員	高等学校1校で推薦できる人数は定めません。	

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 「地理歴史、公民」及び「理科」をそれぞれ複数科目受験した場合は、最高得点の1科目を採用します。
ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」は第1解答科目を対象とします。
- 「外国語」：『英語』を選択解答する場合には、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。
(「リスニング」の免除を許可された人を除く。)
- 教科・科目名の表記については、19ページを参照してください。

V 総合型選抜

1 総合型選抜

(1) 大学入学共通テストを課さない総合型選抜

総合 I - 1/10

実 施 学 部	人文社会科学部
実 施 学 科	経 済 学 科
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 6 名
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）の商業に関する学科，総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人 1 商業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 2 学習成績概評がA段階以上の人 3 次の（1）～（3）のうち2つ以上を取得している人 （1）日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） （2）英検準2級以上 （3）経済産業省基本情報技術者試験又は全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門またはプログラミング部門）
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）
選 抜 期 日	令和6年10月5日（土） 予備日：令和6年10月19日（土）
選 抜 方 法 等	1 聴講・論述試験（100点） 講義（45分程度）を聞いてその内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。 2 レポートに基づく面接（100点） 志願者は，以下の課題のいずれかを選択し，事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：グローバル・サウス，最低賃金，オーバーツーリズム 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。
合 格 発 表 日	令和6年11月1日（金）
備 考	1 合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。 2 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日に実施します。 3 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において，複数の学部に出願することはできません。

実施学部	情報学部	
実施学科	情報科学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠 10名	
出願資格	高等学校（中等教育学校を含む。）の下記に示す専門教育に関する学科，総合学科を令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を満たす人 専門教育に関するいずれか一つの教科*の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
出願期間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選抜期日 ・ 選抜方法等	第一次選抜	令和6年9月21日（土）
		1 基礎学力を問う試験 （「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」（100点×2） 2 書類審査(200点) ※『数学・情報』は，『数学』との共通問題（配点の約3分の2）と情報の問題（配点の約3分の1）からなります。『数学』の出題範囲は「数学Ⅰ，数学Ⅱ」とします。 ※「英語」，「『数学』もしくは『数学・情報』」の得点がそれぞれ配点の50％に達しない場合は，原則として合格対象者から除外します。
	第二次選抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接(300点)
	予備日	令和6年10月19日（土）
合否判定は，第二次選抜での面接と第一次選抜の基礎学力を問う試験の結果を総合して決定します。		
合格発表日	第一次選抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備考	1 合格者のうち，希望者には入学前準備教育を用意しています。 2 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 3 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において，複数の学部に出願することはできません。	

実 施 学 部	工 学 部	
実 施 学 科	機 械 工 学 科	
募 集 人 員	全学科枠 3 名	専門学科及び総合学科枠 2 名
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 1 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人 2 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和7年3月31日までに修了見込みの人 上記の資格を満たし、高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科、総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で、次の条件を全て満たす人 1 学習成績概評がA段階以上の人 2 工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは、教科「工業」に属する科目のことを指します。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日 ・ 選 抜 方 法 等	第 一 次 選 抜	令和6年9月21日（土）
		筆記試験：基礎学力を問う試験（英語・数学・物理）（100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は、 「数学」・・・数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」・・・物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第 二 次 選 抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接（口頭試問を含みます。）を行います。（300点）
	予 備 日	令和6年10月19日（土）
可否判定は、第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。		
合 格 発 表 日	第 一 次 選 抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備 考	1 「専門学科及び総合学科枠」に該当する人が、「全学科枠」を選択して出願することも可能です。 ただし、「全学科枠」と「専門学科及び総合学科枠」の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 4 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は、予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 5 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。 6 基礎学力を問う試験では、旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実施学部	工 学 部	
実施学科	電 気 電 子 工 学 科	
募集人員	全学科枠 2 名	専門学科及び総合学科枠 2 名
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 1 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人 2 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和7年3月31日までに修了見込みの人 上記の資格を満たし、高等学校の学業成績の優秀な人	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科、総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で、次の条件を全て満たす人 1 学習成績概評がA段階以上の人 2 工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは、教科「工業」に属する科目のことを指します。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日 ・ 選 抜 方 法 等	第 一 次 選 抜	令和6年9月21日（土） 筆記試験：基礎学力を問う試験（英語・数学・物理）（100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は、 「数学」・・・数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」・・・物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第 二 次 選 抜	令和6年10月5日（土） < 第一次選抜の合格者に対して行います。 > 面接（口頭試問を含みます。）を行います。（300点） ※面接の得点が配点の60%に満たない場合は、合格対象者から除外します。
	予 備 日	令和6年10月19日（土）
	合否判定は、第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
合 格 発 表 日	第 一 次 選 抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備 考	1 「専門学科及び総合学科枠」に該当する人が、「全学科枠」を選択して出願することも可能です。 ただし、「全学科枠」と「専門学科及び総合学科枠」の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 4 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は、予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 5 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。 6 基礎学力を問う試験では、旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実施学部	工学部	
実施学科	電子物質科学科	
募集人員	専門学科及び総合学科枠 3 名	
出願資格	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科，総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で，次の条件を全て満たす人 1 学習成績概評がA段階以上の人 2 工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは，教科「工業」に属する科目のことを指します。）	
出願要件	合格した場合，入学を確約できる人	
出願期間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選抜期日 ・ 選抜方法等	第一次選抜	令和6年9月21日（土）
		筆記試験：基礎学力を問う試験（英語・数学・物理）（100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は， 「数学」・・・数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」・・・物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第二次選抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接（口頭試問を含みます。）を行います。（300点）
	予備日	令和6年10月19日（土）
	合否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
合格発表日	第一次選抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 2 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 3 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において，複数の学部に出願することはできません。 4 基礎学力を問う試験では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実 施 学 部	工 学 部	
実 施 学 科	化 学 バ イ オ 工 学 科	
募 集 人 員	全学科枠 6 名	専門学科及び総合学科枠 2 名
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 1 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人 2 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和7年3月31日までに修了見込みの人 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの人	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科、総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で、次の条件を全て満たす人 1 学習成績概評がA段階以上の人 2 工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは、教科「工業」に属する科目のことを指します。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日 ・ 選 抜 方 法 等	第 一 次 選 抜	令和6年9月21日（土）
		筆記試験：基礎学力を問う試験（英語・数学・化学）（100点×3） ※「数学」及び「化学」の出題範囲は、 「数学」・・・数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「化学」・・・化学基礎・化学の範囲からの基礎的問題
	第 二 次 選 抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接（口頭試問を含みます。）を行います。（300点）
	予 備 日	令和6年10月19日（土）
合否判定は、第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。		
合 格 発 表 日	第 一 次 選 抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備 考	1 「専門学科及び総合学科枠」に該当する人が、「全学科枠」を選択して出願することも可能です。 - ただし、「全学科枠」と「専門学科及び総合学科枠」の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 4 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は、予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 5 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。 6 基礎学力を問う試験では、旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実 施 学 部	工 学 部	
実 施 学 科	数 理 シ ス テ ム 工 学 科	
募 集 人 員	全学科枠 2 名	専門学科及び総合学科枠 2 名
出 願 資 格	次のいずれかに該当する人 1 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人 2 通常の課程による12年の学校教育を修了又は令和7年3月31日までに修了見込みの人 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの人	高等学校（中等教育学校を含む。）の工業に関する学科、総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で、次の条件を全て満たす人 1 学習成績概評がA段階以上の人 2 工業に関する科目を20単位以上修得又は修得見込みの人 （「工業に関する科目」とは、教科「工業」に属する科目のことを指します。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日 ・ 選 抜 方 法 等	第 一 次 選 抜	令和6年9月21日（土）
		筆記試験：基礎学力を問う試験（英語・数学・物理）（100点×3） ※「数学」及び「物理」の出題範囲は、 「数学」… 数学Ⅰ・Ⅱの範囲からの基礎的問題 「物理」… 物理基礎・物理の範囲からの基礎的問題
	第 二 次 選 抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接（口頭試問を含みます。）を行います。（300点）
	予 備 日	令和6年10月19日（土）
合否判定は、第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。		
合 格 発 表 日	第 一 次 選 抜	令和6年9月27日（金）
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備 考	1 「専門学科及び総合学科枠」に該当する人が、「全学科枠」を選択して出願することも可能です。 ただし、「全学科枠」と「専門学科及び総合学科枠」の併願はできません。 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 4 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は、予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 5 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。 6 基礎学力を問う試験では、旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実 施 学 部	農 学 部	
実 施 学 科	生 物 資 源 科 学 科	
募 集 人 員	専門学科及び総合学科枠 12 名	
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の農業、工業、商業及び水産に関する学科，総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人で，高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上，もしくはこれに相当する成績を修めている人 【注】高等学校の農業，工業，商業及び水産に関する学科の指定については，高等学校の総合学科において，各々，該当する教科の科目を20単位以上修得又は修得見込みの人を含みます。	
出 願 要 件	合格した場合，入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日 ・ 選 抜 方 法 等	第 一 次 選 抜	令和6年9月21日（土）
		1 筆記試験：基礎学力を問う試験 （「化学基礎」，「生物基礎」）（100点×2） 2 小論文（20点） 〔第一次選抜においては形式面のみを評価対象とします。内容については第二次選抜における面接と合わせて評価します。〕
	第 二 次 選 抜	令和6年10月5日（土）
		<第一次選抜の合格者に対して行います。> 面接（小論文の内容に対する質疑応答を含む）を行います。（350点） 〔配点のうち200点は第一次選抜で課した小論文の内容面の評価です。〕
合 格 発 表 日	予 備 日	令和6年10月19日（土）
	可否判定は，第二次選抜の試験結果と第一次選抜の試験結果を総合して決定します。	
	最終合格発表	令和6年11月1日（金）
備 考	1 合格者には，原則として入学前準備教育を受講していただきます。 2 天候等の理由により選抜期日当日に選抜を実施しない場合は，予備日を含めた日程に繰下げて実施します。 3 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において，複数の学部に出願することはできません。 4 基礎学力を問う試験では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないよう配慮します。	

実 施 学 部	グローバル共創科学部	
実 施 学 科	グローバル共創科学科	
募 集 人 員	全学科枠 20 名	専門学科及び総合学科枠 8 名
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 1 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 2 次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上（TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の下記に示す専門教育に関する学科、総合学科を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部、高等専門学校第3年次または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 1 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 2 専門教育に関するいずれか一つの教科※の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は、情報、工業、商業及び農業、水産、家庭、看護、福祉、体育、音楽、美術、英語、理数とする。 3 次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上（TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人	
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）	
選 抜 期 日	令和6年10月5日（土） 予備日：令和6年10月19日（土）	
選 抜 方 法 等	1 聴講・論述試験（100点） 講義（45分程度）を受講して、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。なお、講義の内容の一部には英語コミュニケーションを含みます。 2 面接（100点） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。	
合 格 発 表 日	令和6年11月1日（金）	
備 考	1 「全学科枠」、「専門学科及び総合学科枠」及び「社会人枠」の併願はできません。（出願資格を満たすいずれか1つの枠を選択して出願してください。） 2 出願後は枠の変更はできません。 3 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 4 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。	

実 施 学 部	グローバル共創科学部
実 施 学 科	グローバル共創科学科
募 集 人 員	社会人枠 若干名
出 願 資 格	高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した人（通常の課程による12年の学校教育を修了した人を含む）または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人で、次の条件を全て満たす人 - 令和7年4月1日において21歳以上の者で、3年以上の社会人経験を有する人または3年を経過することが見込まれる人 * 自営業者、主婦・主夫はその期間を社会人経験とみなします。 * 3年以上の社会人経験を有する人には、現に就業していない人を含みます。 * 3年以上の社会人経験には、定時制・通信制・夜間学校に在学した期間に定職（恒常的なアルバイトを含む）に就いていた、または現に就いている人を含みます。 * すべての職歴等の証明書類が必要です。 - 次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上 （TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）
出 願 要 件	合格した場合、入学を確約できる人
出 願 期 間	令和6年9月2日（月）～令和6年9月6日（金）
選 抜 期 日	令和6年10月5日（土） 予備日：令和6年10月19日（土）
選 抜 方 法 等	- 聴講・論述試験（100点） 講義（45分程度）を受講して、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。なお、講義の内容の一部には英語コミュニケーションを含みます。 - 面接（100点） - 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 ※ グローバル共創科学部受験用の「活動歴報告書」を他の書類とともに提出してください。面接の参考資料とします。
合 格 発 表 日	令和6年11月1日（金）
備 考	「全学科枠」、「専門学科及び総合学科枠」及び「社会人枠」の併願はできません。（出願資格を満たすいずれか1つの枠を選択して出願してください。） - 出願後は枠の変更はできません。 - 合格者には、原則として入学前準備教育を受講していただきます。 - 本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜において、複数の学部に出願することはできません。

総合Ⅱ- 1/1

【注】〔選抜方法等 大学入学共通テストの利用教科・科目名〕欄

- 78 –

2 社会人選抜

社会人- 1/2

実 施 学 部	人文社会科学部（夜間主コース）
実 施 学 科	法 学 科
募 集 人 員	1 5 名
出 願 要 件	高等学校（または中等教育学校）を卒業した人（通常の課程による12年の学校教育を修了した人を含む）及び令和7年3月卒業見込みの人、または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人で、次のいずれかに該当する人 1 令和7年4月1日において、1年以上の職歴を有する人または1年を経過することが見込まれる人 2 職歴が1年未満であっても、現に就業し、入学後も就業しながら勉学することを確約できる人（確約書が必要） 3 高等学校卒業等大学入学資格を取得した年月にかかわらず、通学可能な範囲に就職することが内定している人 ＊ 自営業者、主婦・主夫はその期間を職歴とみなし、1または2で出願ができます。 ＊ 1のうち、1年以上の職歴を有する人には、現に就業していない人を含みます。定年退職等で退職した社会人は、1で出願できます。 ＊ 高等学校卒業見込みの人で就職が内定している人は、3で出願できます。 なお、高等学校には、高等学校専攻科を含みます。 ＊ 定時制、通信制、夜間学校に在学した期間に定職（恒常的なアルバイトを含む）に就いていた、または現に就いている人は1または2で出願できます。 全日制高等学校卒業見込みの人は、高等学校在学中に前述の定職があっても、1または2では出願できません。 ＊ 1, 2, 3の資格で出願する人は、すべての職歴等の証明書類が必要です。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、小論文及び面接の結果を総合して行います。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～令和6年11月7日（木）
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和6年12月2日（月）

実 施 学 部	人文社会科学部（夜間主コース：第1期）	人文社会科学部（夜間主コース：第2期）
実 施 学 科	経 済 学 科	
募 集 人 員	8 名	7 名
出 願 要 件	高等学校（または中等教育学校）を卒業した人（通常の課程による12年の学校教育を修了した人を含む）及び令和7年3月卒業見込みの人、または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人で、次のいずれかに該当する人 1 令和7年4月1日において、1年以上の職歴を有する人または1年を経過することが見込まれる人 2 職歴が1年未満であっても、現に就業し、入学後も就業しながら勉学することを確約できる人（確約書が必要） 3 高等学校卒業等大学入学資格を取得した年月にかかわらず、通学可能な範囲に就職することが内定している人 ＊ 自営業者、主婦・主夫はその期間を職歴とみなし、1または2で出願ができます。 ＊ 1のうち、1年以上の職歴を有する人には、現に就業していない人を含みます。定年退職等で退職した社会人は、1で出願できます。 ＊ 高等学校卒業見込みの人で就職が内定している人は、3で出願できます。なお、高等学校には、高等学校専攻科を含みます。 ＊ 定時制、通信制、夜間学校に在学した期間に定職（恒常的なアルバイトを含む）に就いていた、または現に就いている人は1または2で出願できます。全日制高等学校卒業見込みの人は、高等学校在学中に前述の定職があっても、1または2では出願できません。 ＊ 1, 2, 3の資格で出願する人は、すべての職歴等の証明書類が必要です。	
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、小論文及び面接の結果を総合して行います。	
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～ 令和6年11月7日（木）	令和7年2月3日（月）～ 令和7年2月7日（金）
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土）	令和7年2月22日（土）
合 格 発 表 日	令和6年12月2日（月）	令和7年3月6日（木）

3 私費外国人留学生選抜

(1) 募集人員

- ・人文社会科学部（社会学科）2名，人文社会科学部（言語文化学科）3名，人文社会科学部（経済学科）4名
 - ・人文社会科学部（法学科），教育学部，情報学部，理学部，工学部，農学部及びグローバル共創科学部 若干名
- ※人文社会科学部（夜間主コース），理学部創造理学（グローバル人材育成）コースの募集はありません。

(2) 「日本留学試験」及び「英語資格試験」の利用

本学では，「日本留学試験」及び「英語資格試験（人文社会科学部を除く）」を利用します。

受験を必要とする「日本留学試験」の科目及び「英語資格試験」は次のとおりです。

【注】学部によっては，「日本留学試験」及び「英語資格試験」について基準点があり，基準点を満たしていないと出願することが出来ません。基準点の有無及び点数については，「私費外国人留学生選抜学生募集要項」で公表します。

学部	学科・課程	日本留学試験						英語資格試験等
		日本語	総合科目	理科	数学	出題言語	成績を利用出来る試験の実施年月	
人文社会科学部 （昼間コース）	社会学科	○	○		コース1 または コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	個別学力検査で小論文（英文読解を含む）を課します。 ただし，言語文化学科の小論文は英文読解を含みません。
	言語文化学科							
	法学科							
	経済学科							
教育学部	学校教育教員養成課程	○	○ ※	2科目自由選択 ※	コース1 または コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
情報学部	情報科学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
	情報社会学科	○	○		コース1 または コース2			
	行動情報学科	○		2科目自由選択	コース2			
理学部	数学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
	物理学科	○		物理必修, 他1科目自由選択	コース2			
	化学科	○		化学必修, 他1科目自由選択	コース2			
	生物科学科	○		2科目自由選択	コース2			
	地球科学科	○		2科目自由選択	コース2			
工学部	機械工学科	○		物理・化学	コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R
	電気電子工学科							
	電子物質科学科							
	化学バイオ工学科							
農学部	化学システム工学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
	生物資源科学科							
	応用生命科学科							
共創グローバル学部	グローバル共創科学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2023年 6月 2023年11月 2024年 6月 2024年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2023年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT®, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)

※ 理科または総合科目を選択（特別支援教育専攻及び国語教育専修では「総合科目」を，理科教育専修では「理科」を指定します。

(3) 選抜方法等

「日本留学試験」及び「英語資格試験」以外に『個別学力検査』及び『面接』（工学部は面接のみ）を課します。

個別学力検査の教科・科目名，出題範囲等については，「私費外国人留学生選抜学生募集要項」で公表します。

(4) 試験日程 ※複数の学部に出願することは出来ません。

【人文社会科学部】

出願期間 令和6年12月20日（金）から
令和6年12月26日（木）まで
試験日 令和7年2月2日（日）
合格発表 令和7年2月11日（火）

【人文社会科学部以外】

出願期間 令和7年1月27日（月）から
令和7年1月31日（金）まで
試験日 令和7年2月25日（火）
合格発表 令和7年3月6日（木）

(5) その他

私費外国人留学生選抜に関する詳細については，令和6年9月上旬公表予定の「令和7年度（2025年度）静岡大学私費外国人留学生選抜学生募集要項」によります。

VI 受験上の配慮

障害等のある入学志願者で、**受験上及び修学上の配慮を希望する場合は**、出願する前に、下記により申請してください。結果については決定次第、本人に連絡します。**大学入学共通テストの受験に際し配慮を申請した人も、必ず申請してください。**

なお、申請前までに本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	各選抜の学生募集要項に記載します。【 締切厳守 】
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し）を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人またはその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連 絡 先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課入試実施係 TEL 054-238-4465

【注】1 『受験上の配慮申請書』は、本学の学部入試サイトからダウンロードしてください。

郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は、84円分（10月以降は110円分）の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形4号：20.5cm×9cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。

2 電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日（大学が定める夏季及び冬季一斉休業期間を含みます）には受け付けませんので注意してください。

VII 募集要項の発表・請求方法及び情報提供

1 募集要項の発表

出願手続きや選抜方法など記載の募集要項は、下記のとおり発表（予定）します。なお、一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜の各募集要項の冊子は作成しません。本学の学部入試サイト（<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>）からダウンロードしてください。

募 集 要 項 名	発表時期
一般選抜学生募集要項	令和6年10月下旬
学校推薦型選抜学生募集要項	令和6年9月上旬
総合型選抜学生募集要項	令和6年7月上旬
社会人選抜学生募集要項（出願書類付）	令和6年9月上旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項（出願書類付）	令和6年9月上旬

2 募集要項等の請求方法

(1) テレメールで請求する場合（インターネット）

ア 下記の方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合	https://telemail.jp	バーコードから、 アクセスした場合は 資料請求番号の入力 は不要です。	
------------	---	--	---

イ 資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号
大学案内	5 6 3 7 5 2
一般選抜学生募集要項	5 8 3 7 5 2
人文社会科学部案内	5 6 3 7 6 2
教育学部案内	5 6 3 7 7 2
情報学部案内	5 6 3 7 8 2
理学部案内	5 6 3 7 9 2
工学部案内	5 6 8 4 5 2
農学部案内（紙媒体では作成しません）	
グローバル共創科学部案内	7 0 8 0 3 2

ウ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

テレメールに関する注意事項

* 資料は概ね3～5日後にお届けできます。土日祝日は配達がありません。

土日祝日をはさむ場合やお届け先の地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。

* 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払いください。

◇ テレメールでの請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102（9:30～18:00）

(2) モバっちよで請求する場合（インターネット、スマートフォン）

	https://djcm-b.jp/shizuoka3 パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。	スマートフォン、 携帯電話なら、 QRコードを 読み取るだけで アクセスできます。	
---	---	---	---

ア 携帯電話払い、スマートフォン払い、クレジットカード払いができます。

（支払手数料が別途必要です。）

※ 携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。

イ コンビニでの後払いも可能です。（支払い手数料が別途必要となります。）

ウ 送付資料：大学案内、学部案内

※ 料金は上記Webサイト等でご確認ください。

◇ モバっちよでの請求方法についてのお問合せ先

モバっちよカスタマーセンター 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

(3) 大学へ直接請求する場合

ア 窓口で請求する場合

入試課で配布します。

なお、月～金曜日〔祝（休）日を除く。〕の8時30分から17時15分以外については、
守衛所（正門横）で配布しています。

イ 郵送で請求する場合

請求する封筒の表に学部名と募集要項名を「〇〇学部〇〇募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、入試課あてに送付してください。【返信用封筒】（角形2号：33cm×24cm）には請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、360円分（ゆうメール（普通））の切手を貼ってください。（学部案内も同封します。）

※ 返信用封筒がない場合、切手が不足する場合又は希望する学部名・募集要項名の記載がない場合には、送付できないことがあります。

※ 請求者が外国にいる場合、国内の連絡者を通じて申し込むことを原則とします。

※ お手元に届くまでに数日かかりますので、期間に余裕をもってご請求ください。

3 情報提供

[学部入試サイト]

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

- | | |
|---------------|----------------|
| ・お知らせ、緊急のお知らせ | ・入学者選抜方法の概要 |
| ・大学案内及び募集要項 | ・オープンキャンパス、説明会 |
| ・出願情報、入試結果情報 | ・資料請求 |
- など



4 入試情報の開示

静岡大学には、入試情報開示制度があります。詳細は、入試課までお問い合わせください。

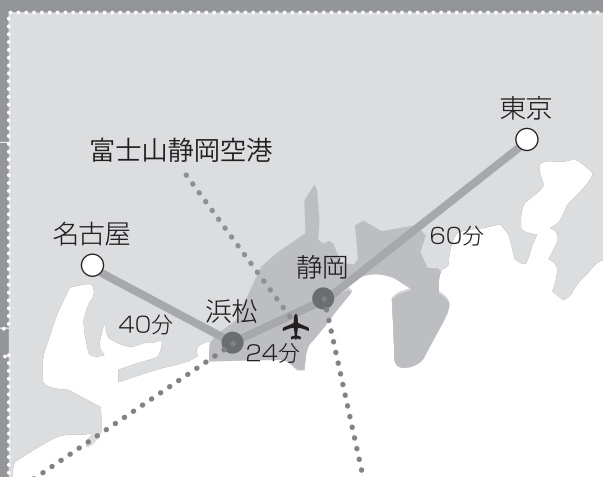
交通案内

静岡キャンパスへの交通案内

JR静岡駅北口バスターミナル8番B乗場（静岡大学行き、東大谷行き又はふじのくに地球環境史ミュージアム行き）に乗りし「静岡大学」又は「片山」下車（所要時間約30分）

浜松キャンパスへの交通案内

JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番乗場（気賀・三ヶ日・奥山行き等全路線）に乗りし「静岡大学」下車（所要時間約20分）



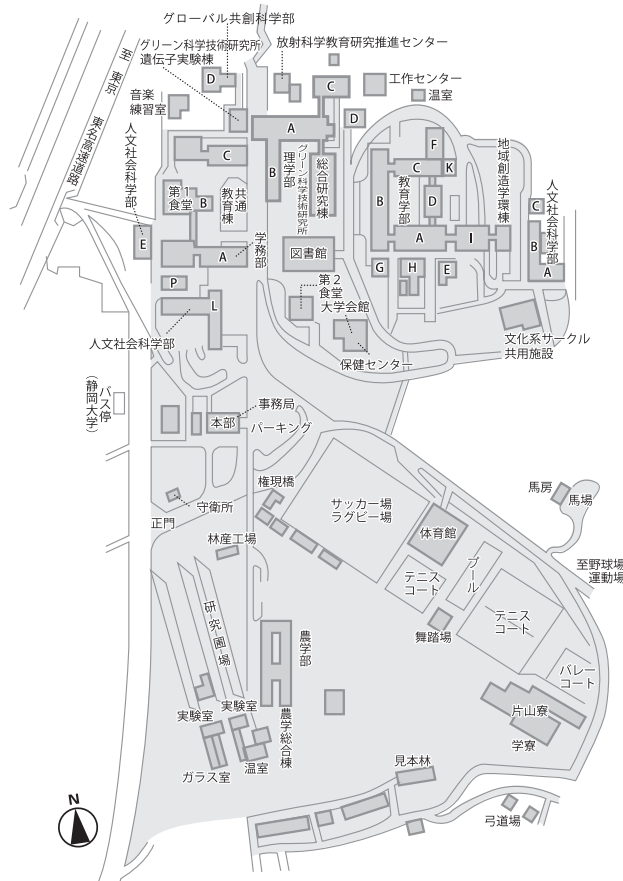
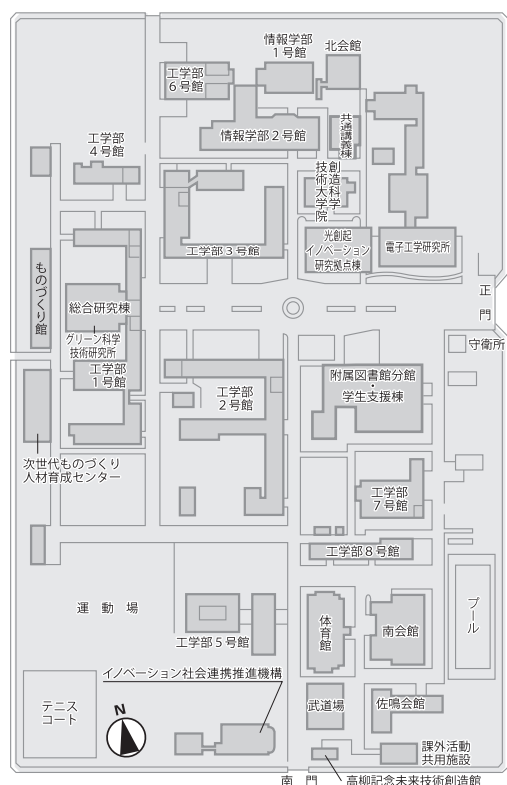
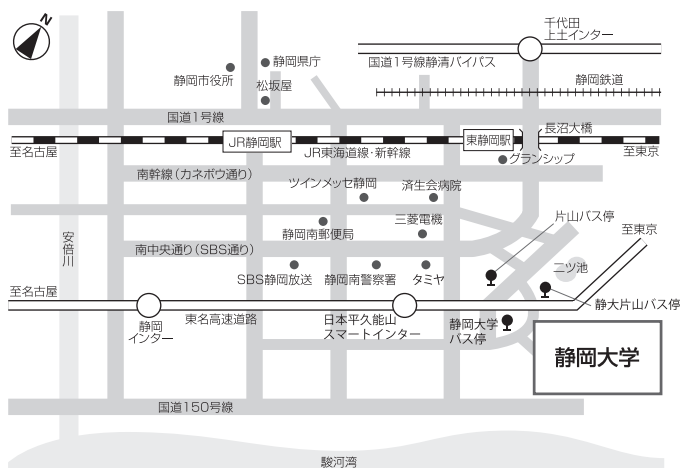
静岡大学浜松キャンパス

情報学部・工学部



静岡大学静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部



入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

- ・お知らせ
- ・出願状況，合格発表
- ・募集要項等請求
- ・オープンキャンパス，説明会 など



<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験者本人が照会するようにしてください。〔土曜日，日曜日及び祝（休）日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人 文 社 会 科 学 部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4217, 4485
教 育 学 部	教育学部学務係		054-238-4580
理 学 部	理学部学務係		054-238-4861
農 学 部	農学部学務係		054-238-4815, 4816
グ ロー バ ル 共 創 科 学 部	グローバル共創科学部学務係		054-238-3715
情 報 学 部	情報学部教務係	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号	053-478-1510, 1511
工 学 部	工学部教務係		053-478-1010
概 要	入 試 課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464, 4465